

北及ヒ西ハ其地大部ノ高サ皆海面下ニ在リ、裏海ノ表面ハ黒海ノ面ヨリ低キヲ八十三呎トス、

此國ノ最長河ハウオルガ(3400)トス、蓋シ又歐洲中ノ最長河也、我石狩川

ノ略ホ六倍ニシテ支那ノ黄河ト其長サ殆ント相肖タリ、長二百哩此河領

ハ頗ル廣大ニシテ歐洲中露西亞ヲ除クノ外如何ナル二國ヲ合併スル

モ其積ニ及フモノナシ、其左岸ノ屬流カマト雖モ其河領ノ大殆ント佛

蘭西ニ等シ、

露西亞ノ河流通ハ交通ノ媒トシテ其功無限ナリ、蓋シ其ノ然ル所以ノ者ハ秀

然タル三特點アレハナリ、即チ河床ノ傾斜大ナラサルカ故ニ、主要ノ大河及

其屬流ノ大ナル者其源泉マテ殆ント自在ニ航行シ得ヘキ、是其特點ノ第

一ナリ、主要ノ大河皆國ノ中心ヨリ出テ總テノ海岸ニ達セルコト、是其特點

ノ第二ナリ、地勢平坦ナルヲ以テ運河ニヨリ容易ニ兩河間ヲ接續シ得ヘキ

、是其特點ノ第三ナリ、其地勢ノ便捷ナル此ノ如クナルカ故ニ交通上一ノ

不便ナキモノ、如シ、然レモ又此特點ヲ破毀スルノ害物鮮ナカラス、國ノ最

長河ウオルガハ裏海ニ朝スルヲ以テ大洋ト交通スルノ利ナク、ドン(Don)河

[995]ハ其注入スル處ノアソフ海水淺フシテ大船ヲ許サ、ルカ故ニ頗ル不
便ナリ、而シテ黒海ニ朝スルニ一ヘル(Dnieper)[1230]ブーヴ(Pug)[340]ニ一ス
テル(Dniester)[700]ノ諸河及バルチック海ニ朝スルネヴァ(Neva)河[300]ハ處々ニ
急流アリテ交通ノ利ヲ減殺シ、北方ノ河流中北ドゥヰナ(Dvina)[700]白海ニ朝
ス)トベトチヨラ(Pechora)[700]北氷洋ニ朝ス)ハ南方ニ比スレハ產物豊多ナラ
サル地方ヲ通過シ、加之ノミナラス其ノ朝スル處ノ海、航通困難ナルカ故ニ其
利少ナシ、又此國ノ諸河ハ皆一年ノ内或時期ノ間凍氷ノ爲ニ壅塞セラル、
ニヨリ、交通上不利ノ事少ナカラス、ウオルガ河口ノアストラカカン(Astrakhan)
ト雖モ氷ノ爲メニ航通ヲ止メラル、コト三箇月ニ及ブ、獨リドゥン河ノミ往
々此憂ヲ免ル、コトアリ、露西亞ノ交通ニハ以上述ヘタル如キ故障アリ、加
フルニ地面ノ大部沼澤性ニシテ道路ノ敷設頗ル困難ナリ、斯ク許多ノ水系
幅集シテ交通ノ便路ヲ開ク能ハサルハ豈、此邦ノ爲ニ深ク惜マサルヘケン
哉、

前條ニ列舉シタル諸河ノ外、此國ニハ又烏拉耳、西ドゥイナウイスチエラ(Visula)
[530]等ノ河アリ、烏拉耳ハ歐亞兩州ノ界ニ在リ、西ドゥイナハリガ灣ニ朝スル

河ニシテウイフチエラハ唯々其一分部露領内ヲ通過スルノミナリ、

此邦ノ湖水ハ河流ノ如ク頗ル有要ノモノタリ、湖水ノ多キハ花崗岩性

露 西 亞

ノ大高原タル芬蘭ノ南ニシテ、即チ歐洲中最モ湖水ニ富メル部分ナリ、
 ○芬蘭ト露西亞本部ノ間ニ在ルラドガ湖ハ實ニ歐洲中第一ノ湖水ニシ
 テ廣袤七千方哩ニ亘レリ、之ニ亞ク者ヲオチガ、(ONEGA) (PEPUS)
 前者ハラドガ湖水ノ南東ニ在リテ、後者ハ芬蘭灣ノ南ニ在リ、裏海ノ北
 ニ於ケル窪池ニ又無數ノ小湖アリ、鹽ヲ供給スルヲ以テ大ニ有益ナリ、
 此國主要ノ海港ハ主ニバルチック海ト交通スル灣頭ニ在リ、芬蘭灣頭ヲゲア
 河畔ニ聖彼得堡(St. Petersburg)〔900.0〕アリ、實ニ本國ノ京城トス、此府ハ千七百〇
 三年彼得大帝ノ開キタルモノニシテ、寂寥タル沼澤中ニ大土功ヲ起シタル
 者也、大帝ノ意蓋シ政治ノ府ヲ海岸ニ置キテ西方文明國トノ交通ヲ自在ナ
 ラシメントセシニ在リ、此府ノ平均温度ハ我國釧路ノ平均温度ト略ホ相同
 シク東京ノ正午ハ此府ニテ午前四時四十二分四十秒也、芬蘭灣ノ小島上ニ
 クロンスタート(Cronstadt)〔48.3〕アリ、彼得堡ノ海門ニシテ堅固ノ砲臺アリ、灣
 頭西ドウサナ河口ニリガ(Riga)港〔95.7〕アリ、露西亞第二ノ海港ニシテ古ヘノ
 リヴォニアノ都ナリ、麻苧ノ貿易盛ナリ、芬蘭灣ノ南濱ニレウヘル(Kovel)〔51.3〕港アリ、
 之ニ對スル北濱ニヘルミンゲンフォルス(Helsingfors)〔54〕アリ、芬蘭ノ首府ニシテ大學校

アリ、
 黒海ノ濱ニオデッサ(Odessa)〔373.7〕アリ、ニステルブーグ兩河口ノ間ニ位ス、南
 露ノ小麥及其他ノ穀類ヲ輸出スル要港ナリ、ブーグ河口ニ近クニコライエ
 フ(Nikolai)〔67.2〕アリ、黒海ニ於ケル海軍碇泊所トス、又ニールヘル河口ニ近ク
 カーソン(Kherson)〔61.8〕アリ、ブーグ海口ニケルチ(Kerch)アリ、又北海ノ頭ドン河
 口ノ西少許ニタガノログ(Taganyrog)〔56.0〕アリ、唯々小船舶ノミ近クヲ得、クリミ
 ア(Crimea)ノ西ニセバストポル(Sébastopol)〔33.8〕〔聖殿府ノ義〕アリ、千八百五十
 五年九月我安政三年拿破崙第三世ガ英軍ト大戦セシ當時陥入シタル有
 名ノ砲臺アリ、クリミア半島ノ南東海岸ニハ許多ノ小海港アリ、ヤイラ(Yaila)
 山嶺其後ニ聳ユルカ故ニ北方ヨリ來ルノ寒風ヲ障蔽シ植物繁生、地中海的
 ノ質性ヲ帯ビ該半島大部ノ砂原的性質ト大ニ其趣ヲ異ニセリ、
 ウォルガノ三稜州ニアストラカフ(Astrakhan)〔73.7〕アリ、波斯海岸トノ貿易樞
 要地ナリトス、而シテ又北ドウサナ河口ニアラシエンセル(Archangel)アリ、白海
 ニ於ケル要港ナリ、
 内地ノ都會中大チ以テ稱スベキモノハ甚々少シ、而シテ又大都會ト稱スル
 モノト雖モ、純然タル都會ト云ハシヨリハ寧ロ村落ノ團結体ニ似タルノ觀
 アリ、

ウオルフガ河領ノ主要ナル都會ハモスコウ(Moscow)〔1535〕トス、此府ハ往時久シク此國ノ京城タリシモノニシテ國內第二ノ都會タリ、府ノ中央ヲクレムリヤ(Kremlin)ト名ク、其中ニ無數宏麗ノ宮殿寺觀アリ、イワン、ウエーキ、寺内ニハ三十四個ノ巨鐘アリ、其中最大ナルモノハ重量一萬七千三百十貫餘ト稱ス、實ニ絶世ノ奇物タリ、モスコウノ南カルガ(Kaluga)、ツーラ(Tula)ノ間ニ石炭及鐵ヲ出スノ地アリ、ツーラ府〔640〕ハ武器鐵器ノ製造ヲ以テ世ニ鳴ル、ニズニノヴ、エロツチ(Nizhni-Novgorod)〔668〕ハオカ(Oka)ウケルガ兩河ノ合流スル所ニ在リ、毎年七八月ノ交、貿易ノ大市ヲ開ク、歐亞兩州ノ民此ニ雲集シ產物ヲ交易ス、ウオルフガ河ノ南方ニ轉向スル要點ニカザン(Kazan)〔1382〕府アリ、商業ノ中心トス、

露西亞ノ主要ナル都會ハウオルフガ(Varsaw)〔1653〕トス、波蘭ノ舊都ニシテ現時大學校アリ、ウオルフガヨリ聖彼得堡ニ至ル要路ニ衝リ、ニーメン河畔ニウヰルナ(Vilna)〔1028〕アリ、古ハノリシユーマニア(Lithuania)王國ノ要都タリシモノ也、バイブリス湖ノ西ニドレルパット(Dorpat)府アリ、

南西及南ニ於ケル主要ナル内地ノ都會ハ豊饒ナルベサラビーア(Bessarabia)ノ中心タルキシチツフ(Kishinet)〔1201〕ニールメル河畔ノキーエフ(Kieff)〔1837〕ニールメル、ドブ、兩河間ノカルコフ(Kharkof)〔1885〕トス、此三部ハ皆黒土地方ニ

露西亞鐵道ノ主要ナル線路ヲ左ニ掲ク、

屬メル都會也、

(一)聖彼得堡ヨリヘルシンキホルン(Helsingfors)ニ至リ、而シテボヘミア(Bohmia)海ノニコライスマート(Nikolaistadt)ニ至ル者、(二)彼得堡ヨリ芬蘭灣ノ南岸ニ沿フテレメル(Revel)ニ至ル者、(三)彼得堡ヨリツーナブルグ(Dunaburg)ニ至リリガニ向テ支線ヲ出シ、ウヰルナ(Vilna)ニ進ミ、(一)キーエフヲ經テ、奥地利ノ界及オデッサニ至ル者、(二)キーエフヲ經テ、奧地利ノウオルフガヲ經テ、維也納及ヒ南日耳曼ニ至ル者、(四)彼得堡ヨリモスコウニ至ル者、其間四百哩、(五)モスコウヨリウオログダ(Vologda)及北方ノ州ニ至ル者、(六)モスコウヨリ東ニズニン、ウヰルナ(Nizhni-Novgorod)ニ至ル者、(七)モスコウヨリ西ニモーレンスク(Smolensk)ヲ經テ、ウオルフガニ至ル者、(八)モスコウヨリ南クルスク(Kursk)ニ至リ、(一)キーエフヲ經テ、奥地利ノ界及オデッサ(Odes)ニ至ル者、(二)カルコフ(Kharkov)ヲ經テ、クリミア(Crimea)ニ至ル者、(九)モスコウヨリロストフ(Rostov)ニ至リ、而シテ高加索ニ至ル者、(十)モスコウヨリ東烏拉耳河畔ノオレンブルグ(Orenburg)ニ至ル者、(十一)オデッサヨリガリシア(Galicia)ノレムベルク(Lemberg)及ロクラコーフ(Krakov)ニ至ル者、

露西亞ノ氣候ハ純然タル大陸的氣候ニシテ、歐洲全土中寒暑ノ差最モ

露 西 亞

大ニシテ且ツ雨量最モ少ナキ國ナリ、アストラカンノ一月ノ平均温度ハ東京同月ノ平均温度ヨリ寒冷ナルヲ八度ニシテ、七月ノ平均温度ハ東京同月ノ平均温度ヨリ寒冷ナルヲ十四度ニシテ、七月ノ平均温度ハ東京同月ノ平均温度ヨリ冷涼ナルヲ略ホ九度半トス、雨量ハ特ニ夏季ニ豊カニシテ南東ヲ除ク外到ル處農業用ニ適セリ、

北方ハ寒氣強ク南東ハ旱魃多キカ故ニ其兩部分ハ共ニ人煙甚々稀疎ナリ、從テ人口ノ大部ハ中央ノ地方特ニ其西部ニ偏集セリ、

○此國ハ天産區域上自ラ五大帶ヲ爲ス、即チ極北ノ帶ハ「ツィンドラ」ト稱スル殆ント無樹ノ平原ニシテ「ラップス」(LAPPS)、「サモイーズ」(SAMOYEDS)等ノ民族馴鹿ト共ニ浮浪セリ、ツィンドラ帶ノ南チ森林帶トス、諸般ノ森樹アリ、此帶中ニ屬スル主要ノ商品ハ毛皮(テラ)、黒貂變色鼠等ヨリ得ルモノナリ、近年マデハ森林ノ蔽フ所全面積ノ四割ナリシカ、今ヤ漸々其數ヲ減セントスルノ

歐 羅 巴 洲

傾向アリ、森林帶ノ南ニ在ルハ工業帶(INDUSTRIAL ZONE)トス、實ニ露西亞ノ中心ニ位セリ、此帶内ニ在テハ耕耘ノ業大ニ關ケ、加フルニ製造ノ業亦頗ル盛ナリ、工業帶ノ南及西ニ在ル者ヲ農業帶トス、特ニ農業ノ盛ナル所ニシテ其穀産大ニ豊穰ス、此帶ノ南部ハ黒土地方ノ名アリ、蓋シ其地質ノ黒色ナルヲ以テ其名ヲ得タルモノナリ、地味膏沃雨量裕カニシテ穀物能ク蕃生ス、而シテ此地方ハ殆ント無樹ナリ、工業帶ト農業帶トハ全國中人煙最モ稠密セル部分ナリ、然レモ猶歐洲中人口密度ノ最モ少ナル者ノ一ニ居レリ、是蓋シ製造耕耘ノ業共ニ發達セサルニ職由ス、現今耕作地トナレル部分ハ全面積ノ唯々三分ノ一ナリ、南及ヒ南東ニ在ル部分ハ草原(STEPPE)ト稱ス、蓋シ又無樹ノ地方ニシテ鹹水ノ潑澤及不動ノ河流處々ニ散在ス、住民ハ概チ「タータルス」(Tatars)、「カルマックス」(Kalmarks)ニシテ、天幕ニ住シ牛馬駱駝ノ類ト共ニ漂遊セリ、

農産物ノ主要ナル者ハ小麥、玉蜀黍及燕麥トス、而シテ麻苧ノ産ハ現時歐洲

露 西 亞

全土ニ冠タリ、又此國ノ鐵^①産ハ主ニ中央烏拉耳地方ニ彙集ス、鐵、金、白金、銅其ノ首産ナリ、金ハ當時合衆國及深州ノ好敵手、タリ、炭坑ハドン河ノ屬流ド子ツ^②(Donetz)ノ近傍ヲ多シトス、然レモ採鑛ノ業未タ振ハス、外國貿易^③ハ未タ盛大ト云フヘカラス、輸出品^④中穀類其全額ノ二分ノ一以上ヲ占ムル^⑤アリ、之ニ亞テ主要ナル者ハ麻、胡麻及木材トス、而シテ主要ナル輸入品^⑥ハ生綿、茶、鐵トス、日本ヨリ此國ニ輸入スル物品中主要ナル者ハ米(107.5)、磁器及陶器(5.4)絹製品類(4.7)、漆器類(3.9)、絹布類(2.1)、玻璃器(1.9)、紋巴其他綿布(1.7)、木器(1.3)青銅器(1.0)、洋傘(0.4)等ニシテ此國ヨリ我國ニ輸出スル物品ハ獨リ石油(6.6)アル^⑦ニシ、

此國ニ住スル民族中其ノ四分ノ三ハ純然タル露西亞人ニシテ、スラヴオニツク^⑧(Slavonic)派ニ屬ス、殘餘ノ民族中其數ノ最モ多キハ、西ニ於ケル「ポーリス」(Poles)族即チ波蘭ノ民トス、露西亞語ニ似タル「スラヴオニツク」語ヲ用フ^⑨、リシニ「ア」人(Lithuanians)ハ芬蘭灣ノ南ノ大部ニ住スル民ニシテ亦等シク「スラヴオニツク」派ニ屬シ、稍露西亞語ニ似タル言語ヲ用フ、芬蘭灣ノ南部諸州中ニハ日耳曼族「チユートン」派ノ民アリ、芬蘭中ノ大部ノ民ハ「フィン」(Fines)「蒙古種ノ民」トス、然レモ芬蘭域内ニテ最モ勢力アルハ南部ニ於ケル瑞典人トス、北氷洋ノ海濱ニハ「ラップ」(Lapps)ト稱スル民アリ、フィン「ス」ニ類似ス、草原地方ニ韃靼族ノ

歐 羅 巴 洲 (一八一)

民アリ、人種ニ於テ既ニ此ノ如キノ差異アルガ故ニ、宗教^⑩モ亦之ニ應シテ差異少ナカラス、即チ露西亞人ハ希臘教ヲ奉シ、ポーリス^⑪ハ加特力教ヲ奉シ、波羅的海領^⑫ノ民ハ「ルーザー」教ヲ奉シ、南東ノ韃靼族ハ回教ヲ奉ス、而シテ「フィン」^⑬ハ又新教ノ民ナリ、露西亞人ノ奉ズル希臘教ハ「天主」(Catholic Faith)ト稱スルモノニシテ、其ノ羅馬教ト異ナル所以ハ法王ノ無上ノ教權ヲ拒絕スルコト、僧侶ノ獨居ニ強抗セザルコト、全國民ニ國音ヲ以テ教文ヲ誦讀講學スルノ權ヲ與フルコトノ諸點トス、

露國ノ政體ハ無限世襲ノ君主政體ニシテ、立法、行政、司法ノ權全ク皇帝ノ手裡ニ在リ、行政ヲ參議院^⑭(Council of the State)元老院^⑮(Ruling Senate)教務院^⑯(Holy Synod)及内閣ノ四大院ニ分任ス、

全國ハ六十八州六百二十五郡外ニ二ノ中郡一ノ小郡ヨリ成ル、其中總督府ノ治下ニ在ルモノハ芬蘭、波蘭、ウヰルナ、キエフ、モスコウトス、總督府ハ總督一人アリ、皇帝ヲ代表シテ文武一切ノ事務ヲ統轄ス、各州ニハ知事一人アリ、代議政會之ヲ輔佐ス、芬蘭ニハ國會アリ、貴族僧侶市民農夫ノ四族ヨリ成リ、開會期ヲ四ヶ月トシ、露帝之ヲ召集ス、

抑、此國ハ元ト「ルーリツク」(Rulic)家ノ王之ヲ支配セシカ、千六百十三年「ルーリツク」家絶ハ、「ローマノフ」(Romanof)男統ノ王代々之ヲ支配シ、千七百三十年

羅馬尼亞

途ニ「ローマン」ノ家女統ノ手ニ歸セリ、既ニシテ「ホルスタイン、ゴットルブ」(Holstein-Gottorp)家ノ彼得三世位ヲ繼キ、男統ノ家系ヲ復ス、即チ之ヲ「ローマン」ノ「ホルスタイン」(Roumanof Holstein)家ト稱ス、即チ現時ノ皇室ナリ、今帝ハアレキサンドル(Alexander)第三世ト稱ス、千八百四十五年二月十六日(新曆三月十日)露國ノ曆ハ十二日ノ差アリ(ニ生レ、同八十一年三月一日(新曆三月十三日)即位ス、

羅馬尼亞 (Romania)

面積四萬八千三百方哩、即チ日本ノ略ホ三分ノ一ニシテ、人口ハ五百五十萬人ナリ、

羅馬尼亞ハ露西亞ノ南西ニ在ル王國ナリ、分テ二部トナス、一ハダニユーブ河ノ左岸ニ在ル、モノニシテ即チモルデヴィア、ウオルレーキアノ舊國ナリ、一ハダニユーブ右岸ノドブルジャ高原ニシテ、千八百七十八年此王國ニ加ハリタル者トス、此國ノ大部ハ露西亞平野ノ連脈ナレトモ、北部ハ地勢稍高クシテ寧ロガリシア、ブコヴィナ高原ノ連脈ナリト言フナ得ヘシ、ダニユーブノ諸屬流域内ヲ横過ス、其中ノ大ナル者ヲセ「ハット」(270)及「ガリツ」(80.8)アリ、其上流、轉曲部ニ「ブライト」港アリ、前者ハ北部羅馬尼亞ノ要港ニシテ、後者ハ南部羅馬尼亞ノ要港ナリ、首府ハ「ブカレスト」(221.8)ト稱ス、ウオルレーキア平野ノ中心ニ在リ、又モルデヴィア高原ニ「ジャヤシイ」府(90.1)アリ、氣候及産物ハ之ニ接近スル露西亞ノ部分ト相肖タリ、要スルニ此國ハ純然タル農業國ニシテ、玉蜀黍ノ産多シ、穀物ノ輸出ハ其額頗ル大ニシテ、世界中此國ノ右ニ出ツル者獨リ合衆國アルノミ、

歐洲

「プル」ト(360)トス、後者ハ露西亞ト此國トノ分界水ニシテ、ダニユーブ河セ「レット」ヲ入レ、東ニ轉向スルノ點ニ「ガラツ」港(80.8)アリ、其上流、轉曲部ニ「ブライト」港アリ、前者ハ北部羅馬尼亞ノ要港ニシテ、後者ハ南部羅馬尼亞ノ要港ナリ、首府ハ「ブカレスト」(221.8)ト稱ス、ウオルレーキア平野ノ中心ニ在リ、又モルデヴィア高原ニ「ジャヤシイ」府(90.1)アリ、氣候及産物ハ之ニ接近スル露西亞ノ部分ト相肖タリ、要スルニ此國ハ純然タル農業國ニシテ、玉蜀黍ノ産多シ、穀物ノ輸出ハ其額頗ル大ニシテ、世界中此國ノ右ニ出ツル者獨リ合衆國アルノミ、

○現今ノ憲法ハ千八百六十六年ノ國會ニ於テ制定シ、後多少ノ改正ヲ加ヘタルモノナリ、國會ハ分テ元老院、代議院ノ二トス、

此國ノ起原ヲ尋メルニ千八百六十一年ウオルレーキア(Wallachia)モルデヴィア(Moldavia)ノ二國相合シテ羅馬尼亞ト稱シ、「コロチル」グーザ(Couza)ヲ撰テ其君主トナセシカ、千八百六十六年革命ノ爲ニ途ニ其位ヲ退キ、カロール(Carol)一世代テ其君トナレリ、其後千八百七十一年五月二十一日土耳其ノ羈絆ヲ脱

シテ獨立ヲ公布シ、千八百七十八年伯林列國會議ノ第四十三條ニヨリテ之ヲ確定セリ、今王即チカロール一世ハ千八百三十九年四月二十日ニ生レ、千八百八十一年三月二十六日ニ王號ヲ稱ス、

スカンジナビア (Scandinavia or Sverigeoch Horge.)

面積十七萬方哩、即チ日本ヨリ稍大ニシテ、人口ハ凡ソ四百八十萬ナリ、

スカンジナビアハ歐洲ノ最大半島ニシテ、瑞典諾威ノ兩國ヨリ成ル、此兩國ハ共ニ人口頗ル稀鬆ニシテ、前者ニ在テハ一方哩ニ付十六人、後者ニ在テハ一方哩ニ付二十六人ノ割合ニ過ギズ、

半島ノ最北點ハ北岬ト稱ス、本岬ノ平均温度ハ我劍路ノ平均温度ヨリ寒キコト三度ナリ、實ニ歐洲大陸ノ最北端トス、又其西南點ハナールゼ岬ト稱ス、而シテ海峽ハスカゲルラーク、カツナガット、サウन्द、カールマルサウ、ンドノ四者アリ、

半島ノ大部ハ堅牢ナル岩石ノ高原ニシテ、緩ク東濱ニ延ヒ西岸ニ急降

ス、而シテ北ヨリ南ニ向ヒ千呎ノ高ヨリ漸次ニ隆昂シテ三千呎以上ニ及ヘリ、故ニ到ル處地面高フシテ耕作ニ適セス、見ル所ノ植物蘚苔ノ類ニ過キスシテ光景實ニ悽然タリ、其地面ハ狹隘ノ峽谷ニヨリテ幾多棧狀ノ塊盤狀ニ截破セラレ、且山峯處々ニ突兀スレテ、一モ連山脈ヲ形成スルコトナシ、地勢既ニ此ノ如シ、加フルニ其大部北極圏内ニ在リ人口密度ノ疎小ナル豈宜ナラスヤ、

此國最高ノ山ハ高原ノ最高部ニ在リ、之ヲガルドヘービゲン^(GARDHÖPPINGEN)ト稱ス、此地處々シヨステダルス^(JOSTEDALSBRÆ)ブラエト稱スル大水河アリ、殆ント四百方哩ノ

面積ヲ蔽フ、西邊ニ於テハ高原ヲ截破セル峽谷、海邊ニ進テ無數ノ嶮峭ナル狹澳^(Fjorde)ヲ形成セリ、是即チ諾威海岸ノ特有性ニシテ、此狹澳ノ前面ニハ多岩島ノ保障アリ、其島嶼中ノ主要ナル群ハロホデン^(LOFODEN)諸島トス、之ニ反シ瑞典ノ海岸ハ到ル處平坦ニシテ、ボスニア灣上部海岸ハ河流ノ齋シ來リタル堆積物ニヨリテ沖層セラレタルモノナルカ故ニ、其海岸線

ノ形状ハ堆積シタル當時ノ狀況如何ヲ推測シ得ラルヘシ、加フルニ此國ノ海岸ハ極南西ヲ除クノ外漸次ニ昂起シツ、アルカ故ニ其部面ノ海岸線其影響ヲ蒙リタルコト又甚ナカラサルヘシ、而シテ西邊ノ海岸ハ東邊ノ海岸ヨリ暖ナリトス、是レ蓋シ灣流ト南西濕風トノ作用ニ原因セルナリ、

半島内ノ低地ハ主ニ高原ノ東坂部ニ在リ、諾威ニ於テハ全面積ノ百分ノ一^スカゲル、ラニ過キサレトモ、瑞典ニ於テハ全面積三分一ノ地積ニ亘レリ、而シテ又主要ナル河流ハ皆同坂部ニ在リ、而シテ其河流進行ノ途次多クハ擴張シテ長湖トナリ、下流ニ至リテ急湍ノ瀑布ヲ形成セリ、故ニ木材ヲ浮流スルノ利アリト雖モ更ニ航行上ノ用ヲ爲サス、湖水ノ大ナル者ニアリ、ウエーテル、ウエッテルト稱ス、瑞典南部ノ低地半島内ニ在リ、

瑞典 瑞典ノ人口最モ稠密セル部分ハ北緯六十二度ノ南トス、之ヲ南北兩部

ニ分ツ、北ヲスヰーランド^ス、南ヲゴットランド^ス (Gotland) ト稱ス、六十三度ノ北ハノルランド^ス (Norland) ノ地方ナリ、

瑞典ノ主要ナル鑛山ハスヰーランドニ在リ、即チダラレン (Dalane) ノ銅鑛及ダンチモリ (Dannemora) ノ製鐵所最モ著名ナリ、此國ノ京城ストックホルム (Stockholm) [246.5] ハ本部内メーラル (Malar) 湖畔ニ在リテ風光頗ル明媚ナリ、一月ノ平均温度ハ我東京同月ノ平均温度ヨリ寒キコト七度ニシテ、七月ノ平均温度ハ東京同月ノ平均温度ヨリ冷涼ナルコト八度ナリ、而シテ東京ノ正午ハ此府ニテ午前三時五十三分十一秒トス、府ノ北ト北西ニアブサラ (Upsala) 府アリ、曾テリンニアス (Linneus) ガ講師タリシ有名ノ大學校アリ、

ゴットランドハ瑞典ノ主要ナル農業地ナリ、其ノカッチガット海峡ニ沿ヘル處ゲータ、ヘルフ (Götaelf) 「ヘルフ」ハ瑞典語ニテ河ノ義、口ニゲイテホルグ (Göteborg) [104.7] ヲテテンバーク (Göteborg) アリ、瑞典國第二ノ都會ニシテ最モ樞要ナル工業市ナリ、ゴットランドノ海岸ニ對シテ同名ノ島アリ、其西岸ノ都會ウヰズビイ (Visby) ハ現時衰頽シテ昔日ノ觀ナシト雖モ、其崖壁及ビ諸般ノ墟址ハ、往時ハハンサ (Hansa) 聯合中ノ要都タリシコトヲ示セリ、ゴットランドノ南端ニ近クマルメー (Marne) [48.5] アリ、丁抹及日耳曼トノ貿易盛ナリ、

諾威 諾威ニ於テ木材ト穀産ノ要地ハスカゲル、ラークノ北ノ三角地ナリ、此

三角地内ニクリスチアニア(Christiania)〔1604〕アリ、諾威ノ首府ニシテ同名ノ澳頭ニ在リ、此府ノ最高温度ハ東京ノ最高温度ヨリ冷涼ナルヲ一度余ニシテ、東京ノ正午ハ此府ノ午前三時二十三分五十秒トス、其他ノ要都ハ皆西岸ノ澳頭ニ在リテ漁業盛ナリ、主要ナル流市ハベルゲン(Bergen)〔837〕トス、ベルゲンノ平均温度ハ我根室ニ同シ、諾威第二ノ都會ニシテ南西ノ一澳頭ニ在リ、此澳ト南點リントスナエス(Lindesnes)岬間ノ海岸ハ鯨ノ漁獲ヲ以テ名アリ、歐ハロホテン(Lofoten)諸島ト本陸間ノ海峡ニ多ク、二月ノ初隊伍ヲ爲シテ來聚ス、土人此魚ヨリ肝油ヲ製ス、ベルゲンヨリ遙カ北ニトロンドエム(Ironth-jon)アリ、瑞典ノ南西ニ至ル夏道ナリ、猶遙カ北ニトロンドエム(Ironth-jon)ハスト(Hammerfest)アリ、後者ハ、歐州最北ノ都會ナリ、此國ニ於ケル鐵道ノ主要ナル線路ヲ左ニ舉グ、

ストックホルムヨリクリスチアニアニ至ルノ線ト、エフレン(Gefle)ヨリゲイテ
ンホルグニ至ルノ線、ウーエーデル湖畔ノキルニ於テ相横截ス、又ストックホルム
ヨリゲイテンホルグニ至ルノ線、ストックホルムヨリコッパンハーゲンノ對岸
マルメーニ至ルノ線、クリスチアニアヨリトロンドエムニ至リ、而シテエフ
レニ至ルノ線アリ、

○瑞典ノ總人口中四分ノ三ハ農業及牧畜ニ從事ス、然レモ諾威ニ於テハ耕作

ノ業ヨリモ寧ロ牧畜ニ從事スル者多シ、又瑞典ノ民ハ伐木及ヒ採鐵ニ從事シ、諾威ノ民ハ伐木漁業及造船ニ從事ス、歐州ノ貿易界ニ於ケル木材ノ半數ハ皆此半島ヨリ出ヅルモノトス、森樹ハ主ニ松杉ノ類ニシテ其質堅牢久シキニ耐ユ、是夏季短カキカ故ニ其年輪甚シク相接近セルニ由ル、

瑞典ノ主要ナル輸出品ハ木材、鐵、穀物、皮革、毛皮、石、燐寸、啤地酒、又主要ナル輸出品ハ製造品、石炭、石油、葡萄酒、麵粉等ニシテ、此國ト貿易盛ナルハ英國、日耳曼、丁抹、諾威、露西亞、佛蘭西、西班牙ナリ、而シテ諾威ノ主要ナル輸出品ハ木材、魚、鐵、啤地酒、麥酒、輸入品ハ穀物、麵粉、製造品、石炭、鹽、石油、葡萄酒ニシテ、此國トノ貿易最モ盛ナルハ英國、日耳曼、瑞典、丁抹、露西亞及佛蘭西ナリ、

瑞典諾威兩國ノ住民ハ大半、スカンデナヴィア派ノチリトン族ナリ、北部ニハ「ラップス」及「フィンズ」ト稱スル別種ノ民アリ、人種學上蒙古種ニ屬ス、宗教ハルザー、プロテスタント(Luther Protestant)教ナリ、

○瑞典諾威ノ兩國ハ共ニ一王ヲ戴ケトモ立法行政ヲ異ニセリ、瑞典ノ國王ハ施政上ノ事ニ關スル立法權ヲ有スレトモ、其他ノ立法權ハ都テ國會ト共ニ之ヲ施行セリ、國會ハ上下兩院ヨリ成リ共ニ人民ノ撰舉スル所ナリ、行政權ハ國王之ヲ掌握シ、内閣ト商議シテ之ヲ執行ス、内閣ハ國務、外務、司法、陸軍、海軍、内務、大藏、文部、教部ノ八員ト他ノ内閣員ヨリ成ル、州ノ行政ハストックホル

ニテハ府知事之ヲ掌リ、他ノ二十四州ニテハ州長之ヲ掌トル、
 諸威ノ國會ハ毎年二月ニ開會シ、三年毎ニ新選舉ヲ行フ、選舉ハ複選ノ法ニ
 シテ、毎三年ノ末ニ人民先ツ代選者ヲ選出ス、其後代選者相集リテ、代選者相
 互ノ中或ハ被選權ヲ有スル他ノ選舉者中ヨリ國會議員ヲ選舉ス、其議員ノ
 總數ハ百十四人トス、國會ハ集會スルニ方リ自ラ上下兩院ニ分チ、議員四分
 ノ一ヲ上院トナシ、四分ノ一ヲ下院トナス、行政ハ國王之カ首長トナリ、内閣
 ナシテ之ヲ執行セシム、内閣ハ國務大臣二人、文部、教部、司法、内務、工部、大藏及
 關稅國防事務、會計稽查院長ノ七員及他ノ二内閣員ヨリ成リ、毎年内閣員中
 ヨリ委員二名ヲ選舉シ、國務大臣一人ト共ニストックホルム府ニ駐在シテ國
 王ヲ輔佐シ機務ニ參與セシム、行政上全國ヲ分テ二府十八州トナシ、府知事
 州知事ヲ置ク、
 瑞典諸威ノ兩國合併シテ一王國トナリシハ千八百十四年ナリ、現今ノ憲法
 ハ同年五月十七日ニ制定セルモノニシテ、爾後多少ノ改正ヲ加ヘタルモノ
 ナリ、今王ハオスカール(Oscar)第二世ト稱ス、千八百二十九年一月二十一日ニ生
 レ、千八百七十三年九月十八日ニ登極ス、

丁抹 (Denmark or Kongeriget Danmark.)

面積一萬五千方哩即チ日本ノ略ホ十分ノ一
 ニシテ、人口ハ凡ソ二百十八萬五千八百人ナリ、

地圖ヲ披テ熟觀スルトキハスカンヂチピアノ半島南方ニ向ヒ、口ヲ開
 テ將ニ小半島ヲ呑マントスルノ狀ヲ爲セルヲ見ン、其小半島ハ即チ丁
 抹國也、

丁抹國ニハ附屬ノ島嶼多シ、本土ノ地質ハ大ニ瘠瘦セルモ、附屬ノ島ハ
 概チ皆肥沃ニシテ此國ノ廩倉トモ稱スベシ、島嶼中ノ主要ナル者ハジ
 ーランド、フーテン、ラーランドトス、リッテル 曰ク丁抹半島ニシテフーテ
 ン及フーランドノ近島ナカッセハ此國ハ砂土ノ嚙舌タルニ過キサルノ
 ミト、三海峡アリテカッナガットハルチック海ヲ聯通ス、即チ瑞典トジール
 ンドノ間ニ在ルモノハセ、サウンドト稱シ、フーランドトフーテンノ間
 ニ在ルモノハグレイト、ベルトト稱シ、フーテント本土ノ間ニ在ルモノ
 ハリットル、
 (LITTLE BELT.)
 ベルトノミ、然レトモ商船ハ常ニセ、サウンドヲ通行ス、是蓋シ航路ノ最
 短ナルト、定西風ノ幫助ヲ得ルコト多キヲ以テナリ、

丁

抹

此國ノ本土ハジヤトランドノ半島ナリ、其北部ハリイム、フイオールドニヨリテ全ク本部ヨリ分離ス、此半島ノ西岸ハ砂阜ノ脈ニヨリテ形成セラル、カ故ニ船舶之ニ近ツク能ハスト雖モ、東岸ハ之ニ反シ甚ク良港ニ富メリ、西部ニ於テハ不毛ノ砂土内地ノ中部マテ擴延シ、人煙頗ル稀疎ナレド、東部ハ稍ヤ膏腴ナリトス、

○首府ハコーペンハーゲン(Copenhagen)ト稱ス、此府ノ大部ハジイランド島ニアリテ、又アマゲル(Angel)ノ小島ニ跨レリ、二月ノ平均温度ハ東京同月ノ温度ヨリ、寒キコト三度セナリ又七月ノ平均温度ハ東京同月ノ平均温度ヨリ暑キコト八度ナリ、而シテ東京ノ正午ハ此府ノ午前三時三十一分十三秒トス、本府ノ外人口ニ萬以上ノ都府ニアリ、一ハフレテリックスボルグ(Frederiks-borg)ト稱ス、コーペンハーゲンヲ距ルコト遠カラス、夏季ニ至レハ國王此都ニ幸スルヲ常トス、一ハオデンセ(Odense)ト稱ス、フーテン島ノ西邊ニ在リ、ジヤトランドノ都會ハ小ニシテ記スルニ足ラス、

○鐵道ハコーペンハーゲンヨリジイランド及フリーネンヲ横裁シテ半島部ノフレテリカニ達ス、但シグレイト、ベルトトリットル、ベルトノ間ハ渡船ニヨル

モノトス、

此國ノ本土ハ地質宜シカラス、加フルニ鑛産ニ乏シキカ故ニ土人ノ生業ハ波濤ヲ友トシテ航海ニ志ス、歟若シクハ土地ノ生産力ヲ改良スル歟、二者中其一ヲ擇ハサルヘカラス、製造業ノ如キハ固ヨリ企テ及フヘキ所ニ非ス、何トナレハ要用ナル各種ノ器械ハ悉ク之ヲ他國ニ仰カサルヲ得サレハ也、故ニ人民ハ此國ノ位置海ニ近ク氣候稍、温和ナルヲ以テ、心ヲ農事ニ傾ケ牧場ヲ拓キ牛羊ヲ飼養スルノ方策ヲ執レリ、而シテ原野ハ海面ヨリ供給スル處ノ蒸々タル温濕ノ水氣アルカ爲ニ、牧草蒼綠トシテ美觀ヲ呈シ、今ヤ製酪業大ニ抄進セリ、土地ノ豊饒ナル部分即チ屬島ニ於テハ主ニ農業ヲ以テ土人ノ恒産トナセリ、故ニ此國全体ノ主要ナル輸出品ハ乳酪ト穀類ニシテ、主要ナル輸入品ハ製造品ト植民地産物トス、

○國民ハ「チウトン」派ニシテ丁抹語ヲ用ヒ、宗教ハ「ルーザー」教ナリ、教育ハ全國

ニ普及シヨールヘンヘーゲンニハ大學校アリ、
 ○此國現行ノ憲法ハ千八百四十九年六月五日ノ憲章ニ基キタルモノニシテ、
 後屢改正ヲ施シタルモノナリ、而シテ行政權ハ國王ト責任諸大臣ニ屬シ、法
 律ノ制定及改正ノ權ハ國王及國會ニ屬ス、國會ハ毎年十月第一日曜日に開
 會ス、國會ヲ分テ上下兩院トス、上院議員ノ定數ハ六十六人ナリ、内十一人敕
 選議員ニシテ、現下院議員或ハ前下院議員ヨリ選拔シ終身之ニ任ス、其餘ノ
 五十四人ハ間接民選ニシテ任期八年トス、下院議員ノ定數ハ百〇二人ニ
 シテ、普通選舉法ニヨリ直接ニ之ヲ選舉シ、三年ヲ以テ其任期トス、行政ノ權
 ハ内閣ニ屬シ國王之ヲ總裁ス、現今ノ内閣ハ大藏、内務、司法及永州事務、外務、
 陸軍、海軍、文部、教部ノ七大臣ヨリ成ル、
 此國ノ王位ハ古來國民之ヲ選舉スルノ例アリ、千四百四十八年、スウェンド、エ
 ストリッドセン王統絶エタルトキ、丁抹國會ハ「オルデンブルヒ」伯クリスチアン
 第一世ヲ撰舉シテ王トス、爾來「オルデンブルヒ」家自然ニ王統タリシモ、千八
 百六十三年フレデリック第七世祖シテ該家男統ノ正系絶エ、「シユレヌウ」ホ
 ルスタイン、ソントレル、ブルグケリ、ユックスブルグ、ノクリスチアン之ヲ襲ク、即
 チ今王ナリ、千八百十八年四月八日ニ生レ、同六十三年十一月十五日ニ即位
 ス、

隔遠ノ屬地^① 北緯六十二度蘇格蘭ノ北西ニフ^②「FAEROE」諸島アリ、丁抹ニ屬
 ス、地面岩石多ク住民稀少ニシテ牧羊ト漁獵ヲ業トス、
 北西遙遠ノ處ニ又氷州^③アリ、北緯六十五度ノ線之ヲ等分ス、本島モ亦丁
 抹ノ屬地ナレドモ其積ハ丁抹總部ヨリ大ナリ、地面ハ急激ニ突起シタ
 ル噴火岩石ヨリ成立シ蘚苔ノ類之ヲ覆フ、夏ハ涼冷ナレド濕氣強ク穀
 物ノ産ニ適セス、人民ハ丁抹人諾威人ニシテ總計七萬二千人ナリ、魚ヲ
 漁シ牛羊ヲ牧シ以テ厩ニ生計ヲ營メリ、此國ニハ活火山^④及噴泉^⑤多シ、其
 噴泉中ニハ殆ント二十四時間毎ニ五十呎乃至百呎ノ水柱ヲ噴騰スル
 モノアリ、主要ナル都府ハ南岸ニ在リテ「RAKIAVIK」稱ス、本州ノ
 行政事務ハ氷州事務大臣之ヲ總轄シ、ライキアヴィークニ知事ヲ置キ行
 政上ノ特別權ヲ委ス、立法ノ權ハ州會ニ在リ、其議員ノ數ハ三十六人ニ
 シテ、内六人ハ敕選議員其餘ハ民選議員ナリ、

日耳曼(獨逸) [Germany or Deutsches Reich.]

日 耳 曼

面積ハ二十萬八千七百三十八方哩、即チ日本ノ略ト一倍半ニシテ、人口ハ四千九百四十一萬六千四百七十六人ナリ、

日耳曼トハ中央歐羅巴ニ於ケル大帝國ノ稱ナリ、此帝國ハ二十六ノ聯邦ヨリ成立セリ、今其主要ナルモノヲ舉グレンハ左表ノ如シ。

王 國	面積(千位)	人口(百位)	大 公 國	面積(千位)	人口(百位)
普 魯 士	134.5	30.0	巴 丁	5.8	1.7
巴 威 耳	29.3	5.6	ハヴゼルムン グー タート	3.0	0.6
撒 遜	5.8	3.5	メクレンブルヒ シュヘウリッ ン	5.0	0.6
瓦 敦 堡	7.5	2.0	メクレンブルヒ スタレリッ ツッ	1.1	0.1
帝 國 領			ザクセン、ウイ マール	1.4	0.3
トルヂヌ、ロー レン	5.7	1.6	カルチンナル ヒ	2.5	0.4

右表ニ示シタル者ノ外、五公國、七侯國及三自由市アリ、其位置ノ概略、普魯士ハ北日耳曼ノ略ホ全長ニ沿フテ延亘シ、アルサス、ローレイン、巴丁(PRUSSIA, ALSACE-LORRAIN, BADEN.)

歐 羅 巴 洲 (七九一)

瓦敦堡、巴威耳ハ南日耳曼ニ於テ西ヨリ東ニ向ヒテ順次ニ占位シ、
 (WÜRTTEMBERG, BAVARIA)
 撒遜ハ中央普魯士ノ南ニ位セリ、而シテ普魯士王國ハ十二州ニ分ル、
 (SAXONY)
 表面ノ地勢ヲ按スルニ、南西部ハ山嶽重疊シテ一千呎以上ノ高地ヲ形
 成セリ、北及東ハ平行ニシテ中央ニ大平野ノ一部分ヲ劃セリ、今南西ヨ
 リ記スルトキハツォーシュ山嶺(4,690)日耳曼ニテハフォーゲセント稱スラ
 イン河ノ左邊ニ沿フテ南北ニ連亘シ佛獨境界ノ部分ヲ形成ス、ライ
 河ノ右邊ニ於テ其ノ河北ニ轉折スルノ邊ニ於テ兩山嶺即チ兩高原ノ
 相結合セルヲ見ル、其ノ一ハヴォーシュニ並行シテ北方ニ走リ其ノ一ハ
 北東ノ方向ヲ取レリ、前者ハ之ヲ黑林ト稱ス、蓋シ暗々タル大松林ニ
 覆ハル、チ以テ也、後者ハ瑞西ノシュトラ山(6,588)ノ連脈ニシテ、此國ニ在
 テハ始メスニアピアン、アルプス(瓦敦堡ニ於テ)ト稱シ、其後フランコニ
 (SUABIAN ALPS, FRANCONIAN
 JURAN)
 アン、シュトラ(巴威耳ニ於テ)ト稱ス、此後者ノ山脈ハ始メマニコーブノ進
 路ニ並行シ、其河ノ轉折部即チラチスボン近邊ニ至リテ稍ヤ北方ニ向
 (RATTSBON)

日 耳 曼

ヒ、巴威耳ノ北東(Fichtelgebirge)ニ進ム、此山系ノ近傍ヨリ三ノ山嶺
 分岐セリ、北西ニ向テ走ル者ハフランコンアン、フオーレスト(Franconian Forest)日耳曼ニテハ
 アルト(Irr)及シユーリンシャアン(Thuringian Forest)フオーレスト日耳曼ニテハツリーントス
 Kenwald.) 北東ニ走ル者ハエルツゲベルゲニシテ南東ニ走ルモノハボヘミアン(Bohemian Forest)フ
 ォーレスト日耳曼ニテハベームナリ、
 日耳曼ヲユラ、巴威耳ノ東ニ於ケルボヘミアン、フオーレスト及巴威耳ノ
 南ニ於ケルアルプス山嶺ハ、蕭瑟タル高原ヨリ成レル三角地ヲ包繞セ
 リ、此三角地ニハ瀦澤頗ル多シ、又ジユラ山ノ北西ニ方リシユーリンジ
 アン、フオーレストト古代板石ノ高原トニヨリテ包マレタル三角地アリ、
 此三角地ハネツカル、マイン及ラインニ因リテ潤澤セラレ、地質及氣候上
 日耳曼國中最モ天恵ヲ得タル地方トス、其中ニ就テマインツト、バーゼ
 ルノ間及黒林トツォーシュノ間ニ於ケルライン河領ノ平坦部ハ特
 ニ春恵ヲ受ケタルモノ、如シ、又北東地方ニ於テシユーリンジアン、フオーレス

トトエルトツゲベルゲニ依テ其兩邊ヲ包マレタル三角地アリ、其第三邊
 ハ獨逸平野ノ界線ナリ、其界線ハ西ノ方ハルツ山嶺ノ麓ヨリ始マレリ、
 此三角地ハツォーゼルノ河領ニヨリテ極西ノ板石高原ヨリ分タル、
 エルトツゲベルゲノ東ニ於ケル獨逸ノ境界山脈ハボヘミアン、フオーレス
 ト、シユーリンジアン、フオーレスト、ハルツ山脈ト等シク南東ノ方向ヲ取
 レリ、往々此全山系ヲ總稱シテスーデツト(Sudetes)稱スルコトアレトモ、其北西
 部ハリーゼンゲベルゲト稱スルヲ常トス、
 此國低地ノ大部ハ概シテ豊饒ナラス、然レトモ海岸ニ近キ西邊ノ部分
 ハ往時海水ニ浸サレ、其沈澱物ヨリ形成セラレタルモノナルカ故ニ、地
 味頗ル膏腴ニシテ穀田及牧場ニ適セリ、
 此ノ國高地ノ外界ハ頗ル鐵産ニ富メリ、上シレシア(Upper Silesia)〔普魯士〕ニ於
 ケルスーデツツ(Sudetes)ノ麓ニハ石炭、鐵、亜鉛ノ産アルヲ以テ此地方ハ鐵工業
 ノ樞府トナレリ、而シテ其工業ノ中心ハオーデル(Oder)河畔ノブレスラウ
 (Breslau)〔335.2〕トス、ホルンゲロルマ(Erzgebirge)ハ銀、鉛、錫ヲ産ス、而シテ其麓ニ豐富

日 耳 曼

ナル炭坑アルニヨリ樞要ナル製造地方トハナレルナリ、**ケムニツ** (Chemnitz) [1390] ナ以テ其中心トス、又ハ**ハルツ** (Hartz) 山ハ諸種ノ鐵物ニ富メリ、而シテ西高原ノ北坂ハ石炭ト鐵ヲ供給シ、加フルニ其位置海岸ニ近ク、且容易ニライオン河ニ到達シ得ルカ故ニ、獨逸工業區中ノ最モ重要ナル無數ノ製造市諸處ニ羅列ス、此區ハ**魯登士** (Ruhr) 及**ウエストファリア** (Westphalia) 州ニ屬スルモノニシテ、其中ニ於ケル主要ナル都會ハ**ハルメン** (Barmen) [1162] **ヘルムス** **フヘルド** (Elberfeld) [1259] 共ニ絹綿ノ製造ヲ以テ名アリ、**コローン** (Cologne) [281-3] 井ニ**ツール** (Dusseldorf) [144-7] **フンク** (Aachen) [103-9] 佛名**エークス**、**シヤハル** (Aix-la-Chapelle) (毛製造ヲ以テ名アル所ニシテ查列皇帝ノ皇居アリシ所ナリ、反應効驗ノ灼然ナル溫泉アリ)、**クレンフヘルト** (Crefeld) [105-4] 絹品ノ製造ヲ以テ名アル所、**ドルトマ** (Dortmund) [99-7] **エッセン** (Essen) (共ニ石炭及鐵工業ヲ以テ名アル所) **ボン** (Bonn) (製造市トシテヨリモ寧ロメイトホーレンノ生地トシテ有名ナリ) 等ナリ、

以上記載シタル鐵物ノ外琥珀ハバルチック海ノ東岸ニ多ク、鹽ハ各所ニ之ヲ見ル、又通常ノ鹽ノ外**魯登士** 領撒達ニハ剝鶯斯鹽ノ産アリ、貴重肥料トス、**獨逸ノ河** ハ**ダニユーブ** (2000) 及其屬流ヲ除クノ外皆日耳曼洋及**バルチック** (Baltic) 海ニ朝シ、**商業上** 井ニ**交通上** 極メテ重要ナリ、**ライン** (Rhine) [900] **エルム** (Elbe) [550] **オー**

ヴル (510) **ヴイスタ** (380) ハ共ニ其國境内ニ在ル部分殆ント皆航行ニ妨ナシ、**ライン** ト**エルム** ハ幅廣クシテ水深ク商船ノ往來頗ル頻繁ナリ、樞要ノ都會夥シク**ライ**、**イン**、**ノ**、**兩岸**、**粧飾**、**ス**、**ライ**、**ノ**、**屬流**、**ニ**、**マイン**、**モー**、**ゼ**、**ル**、**チ**、**カ**、**ア**、**リ**、**ライ**、**ノ**、**河**、**畔**、**ニ**、**於**、**ケル**、**都**、**會**、**ハ**、**瑞**、**西**、**境**、**界**、**ノ**、**ハ**、**ー**、**ゼ**、**ル**、**ノ**、**外**、**ス**、**コ**、**レ**、**メ**、**ハ**、**イ**、**デル**、**ス**、**ル**、**ビ**、**マン**、**ハイ**、**ム** [790] **マイン**、**ツ**、**ホ**、**ン**、**ノ**、**ロー**、**ン**、**ツ**、**ー**、**セル**、**ド**、**ル** [144-6] ナリ、其他此河ノ近傍**ツ**、**キ**、**ー**、**シ**、**ト**、**黒**、**林**、**間**、**ノ**、**平**、**坦**、**ノ**、**河**、**領**、**ニ**、**ス**、**ト**、**ラ**、**ッ**、**ス**、**フル**、**ダ** [123-5] **カール**、**ス**、**ルー**、**ヘ** [73-5] **アリ**、**ヘルム**、**河**、**畔**、**ニ**、**ハ**、**ド**、**レス**、**テン** [276-0] **ライ**、**セン**、**以**、**テ**、**名**、**アリ**、**マ**、**グ**、**ス**、**フル**、**ダ** [202-2] **漢堡**、**アリ**、**日耳曼洋**、**ノ**、**海**、**岸**、**ハ**、**砂**、**阜**、**一**、**帶**、**ノ**、**線**、**ニ**、**シ**、**テ**、**幾**、**多**、**ノ**、**島**、**嶼**、**其**、**前**、**面**、**ニ**、**散**、**在**、**ス**、**海**、**岸**、**ト**、**此**、**島**、**嶼**、**ト**、**ノ**、**間**、**ハ**、**其**、**水**、**極**、**メ**、**テ**、**淺**、**ク**、**シ**、**テ**、**干**、**潮**、**ノ**、**時**、**ハ**、**徒**、**步**、**シ**、**テ**、**渡**、**リ**、**得**、**ル**、**モ**、**ノ**、**ア**、**リ**、**故**、**ニ**、**此**、**國**、**ノ**、**海**、**港**、**ハ**、**必**、**ス**、**皆**、**河**、**口**、**ニ**、**占**、**在**、**セ**、**リ**、**今**、**左**、**ニ**、**海**、**港**、**ノ**、**主**、**要**、**ナ**、**ル**、**者**、**ヲ**、**舉**、**ゲ**、**ン**、

ウエーセル河畔ニブレーメン(Bremen)〔1246〕アリ、航海船ノ達シ得ル極限ニ起リタルモノナリ、然レ其當時巨船之ニ近ツクヲ得サルニ至リシヲ以テ、其河口ニブレーメル、ハーヘン(Dremer Haven)代リテ起リ、其港勢ノ光景ハ煌々トシテ旭日ノ如シ、エルベ河口ノ漢堡(Hamburg)〔1300〕ハ滿潮(平均六呎以上ニ昇ル)ノ帶助ニヨリ最大航海船之ニ近ツキ得ルノ便アリテ、實ニ日耳曼ノ樞要港タリ、此港ガ此國ノ樞要港タル所以ノ者ハ、北米ノ諸要港トノ貿易盛ナルニヨルト雖モ、又撤退工業地ノ如キ遠方マテ航行シ得ル大河ノ口ニ立ツヲ以テナリ、コノ港ニ接近シテアルトナ(Altona)港〔1855〕アリ、エルベノ河口ニグンクス、ハーヘン(Cux Haven)アリテ、漢堡ニ屬スル港トス、グツクス、ハーヘンノ漢堡ニ於ケルハブレーメル、ハーヘンノブレーメンニ於ケルカ如ク重要ナラズ、日耳曼洋トバルチック海ノ間ニ在リテ航海小船ノ通行シ得ルアイデル(Elper)運河(此運河ヲ廢シ別ニエルベ河口ヨリキール(Kiel)灣ニ至ルノ運河ヲ掘リ、其床ヲ深クシテ大船ノ通行ヲ自在ナラシメントノ舉アリ)ノ西端ニテインニング(Troning)アリ、今ハ小部タリト雖モ將來繁盛ニ趣クノ望アリ、蓋シ英國ニ牛羊ヲ輸出スルノ要港ナルヲ以テナリ、オルテンブルク(Oltenburg)大公國ノ北ノ灣内ニワッセルヘルムス、ハーヘン(Wilhelms Haven)ノ海軍碇泊所アリ、日耳曼ノ海軍碇泊所中冬季其水ノ凍結セザルハ、獨リ此港アルノミ、

シレスワイヒ、ホルスタインノ東海岸ハ此國西部ノ海岸ト大ニ趣キ異ニシ良浦多シ從テ天然ノ美港アリ、然レ其港ハ皆局部ノ要ヲ爲スニ止リ、日耳曼全體ニ影響ヲ與フル者ハ二三ニ過キス、

キール(Kiel)〔691〕普魯士ノキール灣邊ノ美港ニシテ、且日耳曼海軍ノ主要ナル屯營アリ、貿易頗ル殷盛ノ樞要地タリ、其南東ニ方レル灣内ニリニーベック(Liibeck)アリ、往時、ハンサ聯合ノ長トシテ貿易甚々盛大ナリシカ、今ハ大ニ其趣ヲ改メバルチック商業ノ要港タルニ過キス、

ウヰスマール(Wismar)〔メクレンブルク、シメズヘリン(Mecklenburg-Schwerin)大公國〕ハ當時大ニ衰頹セリ、而シテオーデル河口ノステッテン(Stettin)〔1162〕普魯士ノボメラニア(Pomerania)州ハ樞要ノ海港ナリトス、ウーセドム(Usecdom)島ノスワキー子ニエント(Swinünde)ハステッテンニ對シテグツクス、ハーヘンノ漢堡ニ於ケルカ如キ關係ヲ有セリ、東ボメラニア(Eastern Pomerania)ノ不毛地ニ昇セル平低ノ海岸ニハ一モ樞要ノ海港ナシ、然レ東西普魯士ノ州ニ於テハダントツイッヒ(Danzig)〔1205〕ケニツスマール(Königsberg)〔1615〕及メーメル(Memel)ノ三要港アリ、是等ノ港ハ之ニ接近セル地方ノ產物即チ木材、穀物、麻苧類ヲ輸出スルノ要港タリ、ダントツイッヒ(西普魯士ノ州)ハウヰスマールノ支流ノ口ニ在リ、蓋シウヰスマールノ

本流ハフリッシエス、ハッフ(Frisches Haf)ノ沼澤中ニ朝スレテ、其支流ハダントツイッヒ灣ニ注入ス、此灣トフリッシエス、ハッフノ間ニハ低キ長砂脈アリ、クローニクスベルヒ(東普魯士)ハフリッシエス、ハッフノ東端プレীগェル(Pregel)河口ニ在リテ、有名ナル哲學者韓岡カ講師タリシ大學校アリ、メーメル(Memel)ハクリッシエス、ハッフ(Kurisches Haf)ノ北端ニ在リ、クリッシエス、ハッフハ又一ノ沼澤ニシテ、フリッシエス、ハッフノ北東ニ在リテ、前者ハ後者ヨリ淺ク、航海船之ヲ通行スル能ハス、

日耳曼平野ニ於ケル内地ノ最モ樞要ナル都會ヲ伯林(普ノブランデンブルヒ州)ニ稱ス、テ、東京ノ正午ハ此府ノ午前三時三十四分三十一秒ニシ、

此府ハ普魯士及日耳曼帝國ノ京城ニシテ、スプリー(Spre)河畔ニ在リ、熾然タル砂土地方ニ在リト雖モ、其ノ能ク今日ノ盛況アルニ至リタルハ、日耳曼平野ノ中心ニ位スルヲ以テナリ、而シテ此事實ハ又其商業ノ發達ヲ幫ケ、製造工業特ニ機械製造モ自然盛大ナルニ至レリ、

此府ノ西殆ント二十哩ニポツダム(Potsdam)府アリ、普魯西王ノ夏宮トス、ガールナルノ恩流ワルタ(Warta)ニポーゼン(Posen)州アリ、其位置伯林ノ殆ント正東ニ在リテ頗ル繁盛ヲ極ム、蓋シ又中央的ノ位置ヲ占ムルヲ以テナリ、ポーゼンノ南ニブレンスロウ(Breanu)アリシレシアノ要都トス、

工業ノ樞府タルノミナラズ、諸般ノ製造業盛ニシテシレシア羊毛及亞鉛ノ大市場タリ、伯林ノ西南西エルムノ河畔ニマゲテアルロ(Magdeburg)〔262.2〕〔撒遜州〕アリ、此處ニ於テハ堅牢ノ岩石平野ノ上ニ起リテ河ノ兩岸ヲ形成スルヲ以テ橋ヲ架スルニ便ナリ、故ニ戰爭、并ニ商業上頗ル樞要ノ場所トス、而シテ又此都府ハ日耳曼國中ノ甜菜製造ノ中心トス、マゲテアルロノ南東サール(Saale)河畔ニハルレ(Halle)〔101.4〕アリ、工業頗ル盛ナリ、是近傍ニ木炭層アルニ職因ス、マゲテアルロノ西北西(伯林ト殆ント同緯度)ライネ(Laine)河ノ航行極限ニハノーヴェル(Hanover)〔165.5〕ハノーヴェル州アリ、往時ノハノーバル諸王ノ住ミシ處ニシテ、現時ハノーヴェル鐵道系ノ中心タリ、而シテ又大學校アリ、

撒遜ノ首都ハドレスデン(Dresden)〔276.1〕ト稱ス、風光明媚ニシテ古物名畫等珍奇寶物ノ收蓄全國ニ冠タリ、加フルニ氣候溫和ナルヲ以テ富豪ノ住宅ヲ此地ニ移ス者多シ、此府ヨリエルム河ニ沿ヒホヘミア(Pohania)ニ赴クノ途上山水秀美ニシテ奇景絶勝眞ニ造化ノ功ヲ鍾メ、其風致頗ル瑞西ニ似タル所アリ、故ニ撒遜瑞西ト稱ス、撒遜王國中ドレスデンニ亞ク者ハライプツィヒ(Leipzig)〔293.5〕トシ、二大街道(フランクフルト及マイン河)領ヨリフランクoniaン、フオーレストヲ横截シテ來ル者トホヘミアヨリ來ル者)ノ會合點ニ在リ、故ニ

曼 耳 日

古來商業ノ樞府タリ、毎歲二回大市ヲ開キ遠近ノ商賈雲集雜沓チ極ム、毛革及毛織ヲ以テ商業ノ重要品トス、而シテ府内書肆多ク日耳曼國中書籍販賣ノ中心ニシテ實ニ文華ノ淵藪タリ、ブレンスウツク (Brunswick) 公國ノ首都ハブレンスウツク [1005] 日耳曼ニテハブラウンシュヴァイロ (Braunschweig) ニシテ頗ル繁盛ノ都會トス、此公國ハ昔ノ撒遜州ノ如ク甜菜培養ノ要地トス、ブルンスウツクハ砂糖製造ノ中心タリ、

マイン (Main) 河畔ニフランクフルト (Frankfurt) [1799] (昔ノハフタナントー (Hesse-Nassau) 州) アリ、銀行業ノ樞府ニシテ日耳曼ノ詩仙ゲーテノ生地ナリ、ライン河ノ左岸ニ近クストラスブルロ (Strassburg) [1236] アリ、帝國領アルサス、ローレーン (Alsace-Lorraine) 州ノ要都ニシテ大學校アリ而シテ遙カ南ニミュールハウゼン (Mühlhausen) アリ、綿布製造ノ中心トス、黒林トシニアピアンプルトノ溪野チツカル (Neckar) 河畔ニスツートガルト (Stuttgart) [1397] アリ、瓦敦堡王國ノ首都ニシテ又日耳曼魯律商業ノ要府タリ、南方高原ノ中央ニミューニツク (Munich) 日耳曼ニテハミューンヘン (München) [3483] アリ、巴威耳王國ノ首都ニシテイザル (Isar) 河畔ニ在リ、南日耳曼ノ最大都ニテ有名ナル大學及各國ノ製造物諸學科ノ器械等ヲ鳩メタル博物館アリ、又名舊古筆ノ蒐藏館アリ、其西北西レツク (Lech) 河畔ニアウグンプルロ (Augsburg) アリ、スプリューゲン (Spilgen) 越及

歐 羅 巴 洲 (七〇二)

鐵道線路ノ主要ナル者ヲ左ニ擧ゲン、

ブレンネル (Brenner) 越ニヨリテ亞爾伯山ヲ越セル路ノ集合點ニ在ルヲ以テ往時ハ頗ル繁盛チ極メタリ、ダニエー河流中百噸積船船ノ航行極限ニウラム (Ulm) 府 (瓦敦堡) 蒸氣船ノ航行極限ニラチスホム (Ratisbon) アリ、日耳曼ニテハレグニスブルロ (Regensburg) 巴威耳ニ在リ、北巴威耳フランコンニア (Franconia) ニニエールンメルロ (Nürnberg) [1424] アリ、木製玩具ノ製造販賣ヲ以テ名アリ、蓋シ其材料ハ之ヲ黒林ニ仰ケリ、ハルツ山ノ東端ニアイスレーベン (Eisleben) (昔ノ撒遜州) ノ鑛山市アリ、ルーザー (Luther) (獨音ルーター) ノ生地トシテ有名ナリ、シュエーリンゲン、フォーレンストノ北界ニ沿フテアイゼナツク (Eisenach) (ゴータ (Gotha) ノヘルフルト (Erfurt) ノライナル (Weimar) ノ小都アリ、西ヨリ東ニ向ヒ十五哩乃至二十哩ノ距離ヲ以テ盛ニス、ライマルハゲーテノ久シク住居ヲ構ヘシ所ナリ、

鐵道線路ノ主要ナル者ヲ左ニ擧ゲン、
(一) 伯林ヨリ漢堡キールヲ經テ丁抹ニ至ル者、(二) 伯林ヨリプレーメン、ガルテンブルロニ至ル者、(三) 伯林ヨリマクデブルロ、ハノーヴェル、コーローンニ至ル者、(四) 伯林ヨリライプツィヒニ至リ、而シテフランクフルト、チン、マイン或ハミューニツクニ至ル者、(五) 伯林ヨリドレスデンニ至リ、而シテプレーグ (Prague) 及維也納 (Vienna) ニ至ル者、(六) 伯林ヨリブレスラウニ至リ、而シテクワコウ (Crauw) ニ至ル者、(七) コーローンヨリライン河ヲ下テウエーゼルニ

至リ、而シテ安特堤(Ansterdam)及ロテルダム(Rotterdam)ニ至ル者(八)ローレン
 ヲヨリフライクスマ、サシヤムルチ総ナリ、レジェ(Lege)ニ至リ、而シテフラスセル
 (Brussels)或ハ巴黎ニ至ル者(九)コローンヨリライン河ナ上チコブレンツ
 (Coblentz)・ライントツ(Mainz)ニ至リ、而シテカールスルーエ(Carlruhe)・キーンエ(Bale)
 ナ経テ瑞西ニ至ル者(十)ストラスブルグ(Strasbourg)ヨリカールスルーエ(Kerls-
 ruhe)・シュットガート(Suttgart)・ウルム(Ulm)・プッサン(Um)・アウズブルグ(Augsburg)・ムニッヒン(Mu-
 nich)・パッサウ(Passau)ニ至ル者(十一)ミューンハッハ(Munhouse)ヨリバスル(Basle)・ハ
 ンヌマンズ(Constance)ニ至ル者、

日耳曼ハ緯度十度餘ノ間ニ延亘スレド、一年ノ平均温度ハ概シテ一様
 ニシテ其差異七度乃至十度ナリ、是蓋シ表面ノ高下一ナラサルニ由ル、
 即チ北方ハ緯度高キ代リニ土地低ク、南方ハ緯度低キ代リニ土地高シ、
 故ニ兩者平衡ヲ保ツテ得テ著大ノ差異ヲ見ルナキナリ、然レド其氣候
 ハ島嶼的ト言ハンヨリ寧ロ大陸的ナリ、國內ニテ最モ温和ノ氣候ヲ有
 スルハライン及マインノ河領ニシテ巴且杏栗ノ産アリ、葡萄ノ培養ハ
 五十一度線ノ以北ニアルコナシ、

礦産區外ノ人民ハ主ニ農業及牧畜ニ従事ス、主要ノ穀物ハライ麥、馬鈴薯及
 甜菜トス、中央獨逸ノ高地中ニ位セル溫暖地方ニ於テハ果實葡萄酒ノ産ア
 リ、南西ノ地方特ニライン、チツカル、マイン河領ニ於ケル丘阜地方ニハ葡萄
 酒ヲ其主産トシ、檀草、玉蜀黍、忽布ノ産、之ニ亞ク、而シテ森林ハ全表面ノ四分
 ノ一ヲ覆ハリ、蓋シ往時中央歐羅巴ノ凡テ森林沼澤ノ地タルニ因レルナリ、
 此國ノ主要ナル輸出品ハ穀物、家畜、木材、鐵、麻及毛織ノ製造品ニシテ、主要ナル
 輸入品ハ麻、皮革、砂糖及植民地ノ産物ナリ、而シテ日本ヨリ此國ニ輸入スル
 主要品ハ米[48.3]、樟腦[122.6]、漆器類[121.1]、磁器及陶器[83.9]、魚油[36.8]、板銅其他熟
 銅[32.6]、木鐵[31.4]、屏風[21.3]、竹材[20.1]、生銅[15.1]、竹器類[14.8]、青銅器類[14.6]、生糸
 [13.4]、絹布手巾[10.3]等ニシテ此國ヨリ日本ニ輸出スル主要品ハ「ノランセル」
 [512.5]、鐵線[376.0]、漆器類[321.2]、羅紗[280.9]、「トニリ」[247.9]、遊戯[205.0]、絹糸朱
 子[194.6]、兵艦[192.3]、手絲類[182.7]、麥酒[143.8]、汽船[97.4]、印刷料紙[92.2]、鐵器類[88.9]、板
 瓦鉛[67.3]、牧車[53.3]、靴底皮其他熟皮類[48.5]、塊鏡[47.3]、條鐵及竿鐵[45.3]、毛織子
 [37.9]、白砂糖[36.4]、鐵道客車[32.3]、燈[30.1]、護謄器類[25.3]、玻璃[22.3]、竹器類[20.9]、紡
 績機[20.3]、更紗[16.8]、「ノランセル」[16.6]、帽子[15.0]、板鐵[15.0]、器具計[14.0]、鑛山機[14.0]、絹布手巾[12.2]、鐵[11.8]等ナリ、

人民ノ大數ハ日耳曼族ニシテ「シャウトン」派ニ屬ス、東部普ノポーセン州
 (GERMANS)。

及西普魯士及シレシアノ部分ノ民ハ概チ「ポールス」ニシテ「スラヴォニク」
 派ニ屬ス、日耳曼族中南日耳曼ニ於ケル者ハ「ハイ、ジャーマン」派ニシテ、低
 地ノ北岸近傍ノ民ハ「ロー、ジャーマン」派ナリ、全人民五分ノ三ハ新教ヲ奉
 シ、五分ノ二ニ主ニ東及南西ノ民ハ加特力教ヲ奉ス、教育ハ全國ニ普及シ
 テ大ニ進歩シ、二十一ノ大學校アリ、其中伯林トライプツイヒノ兩大學校
 ナ以テ最モ主要ナルモノトス、

○日耳曼帝國ノ政務軍事ハ普魯士王之ヲ管掌シ日耳曼帝ト稱ス、現今ノ憲法
 ハ千八百七十一年四月十六日ニ制定シ、獨逸諸邦ハ國家ヲ保護シ人民ノ安
 全幸福ヲ謀ランガ爲メ、同盟聯合シテ永世渝ラザルノ聯邦ト爲シ、以テ一帝
 國ヲ創立セルモノナリ、而シテ其立法事務ハ聯邦議會及代議院之ヲ掌握ス、
 聯邦議會ハ各聯邦ヲ代表シ、代議院ハ日耳曼ノ國民ヲ代表ス、聯邦議會ノ議
 院ハ五十八人ニシテ、一會期毎ニ各聯邦政府之ヲ任命ス、代議院ノ議員ハ三
 百九十七人ニシテ、普通選舉法ニヨリ人民之ヲ選舉ス、其在職年限ハ五年ト
 ス、聯邦議會及代議院ハ毎年開會シ、聯邦議會ノ議長ハ帝國首相即チ「ライヒ
 ス、カンソレル」ニシテ、代議院ノ議長ハ議院中ニテ互選ス、帝國ノ國務尙書
セクレタリ、オフィシヤール

ハ外務尙書、帝國內務尙書、帝國海軍尙書、帝國司法尙書、帝國大藏尙書ノ諸員
 ナリ、國務尙書ハ内閣ヲ組織スルニ非ス、帝國首相ノ總轄ヲ受ケ、互ニ獨立シ
 テ其主務ヲ行ヘリ、其外帝國郵、便局長官、帝國鐵道局長官、帝國收稅局長官、帝
 國慶兵院資金管理局長官、帝國銀行總裁、帝國公債事務局長官、聯邦議
 會ハ帝國首相ノ指揮ニ從ヒ高等ノ行政及議政ノ衙門ヲ代表ス、
 普魯士ニテハ國王行政ノ全權ヲ統ヘ、兼テ立法權ノ一部ヲ有ス、此國現行ノ
 憲法ハフリードリッヒ、ウヰルヘルム第四世ノ時千八百四十九年八月ヨリ十二
 月ニ至ルマテ集議セシ立憲議會ノ議ヲ經テ、千八百五十年一月三十一日公
 布セラレタルモノニシテ、後數回勅令ニヨリテ修正セラレタルモノナリ、國
 王政務ヲ行フニハ内閣諸大臣之ヲ輔弼ス、現時ノ内閣員ハ總理大臣、副總理
 大臣、國務大臣兼帝國內務尙書、內務大臣、陸軍大臣、工部大臣、農務官有財產及
 林務大臣、司法大臣、教部文部及醫部大臣、大藏大臣、國務大臣、帝國外務尙書、商
 務大臣ノ諸員ヨリ成ル、立法權ハ國王ト國會トニ分屬ス、國會ハ貴族院代議
 院ノ兩院ヨリ成立ス、代議院ノ議員ハ四百三十二人アリ、此内三百五十二人
 ハ舊王國ヨリ擧ス、代議院議員ノ任期ハ五年ナリ、兩議院ハ毎年十一月ニ
 之ヲ開ク、其他各王國及各公國皆各自特殊ノ政治ニ據レリ、
 今日耳曼帝歴古ノ系統ヲ尋ヌルニ「シャルルマン」(Charlemagne)家トシテ

日 耳 曼 (一一三)

フニム家(Franconia)家「キントン」(Saxony)家「フン」(フニム家(母)「キントン」家
(母)「キ」ー「ン」ム「キ」ン「ン」)「Hohenstaufen」家「ン」ム「ン」ル「ヒ」(Habsburg)家「ナ」ツ「ン」
ー」(Nassau)家「ン」ム「ン」ル「ヒ」家(母)「ル」ク「セ」ン「ン」ル「ヒ」及「巴」威「耳」(Taxemburg
and Bavaria)ノ「兩」家「ン」ム「ン」ル「ヒ」家(三)「巴」威「耳」家「ン」ム「ン」ル「ヒ」(Lorraine)家「
ン」(Habsburg-Lorraine)家等ヲ「經」テ「今」ノ「ホ」ー「ン」ツ「キ」ン「ン」(Hohenzollern)家ト
ナレリ、現家ハ千八百七十一年ウ「ル」ヘルム(Wilhelm)第一世日耳曼帝ニ「選」
舉セラレシヨリ起リシモノニシテ、今帝ハ第三代ノ君ナリ、ウ「ル」ヘルム
第二世ト稱ス、千八百五十九年一月二十七日ニ生レ、同八十八年六月十
五日ニ登極ス。



附錄

面積及人口表

支	國名	支那		西藏		東土庫斯坦	
		面積	人口	面積	人口	面積	人口
直隸 (Chili)	中國	1,133,341 方里	36,600,000	1,793,370	60,000,000		
山東 (Shantung)	中國	323,210	25,000,000	3,627,853	60,000,000		
山西 (Shansi)	中國	1,218,800	7,500,000	1,212,453	58,000,000		
河南 (Henan)	中國		22,000,000	1,158,271	58,000,000		
江蘇 (Kiangsu)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
安徽 (Anhui)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
江西 (Kiangsi)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
浙江 (Chihkiang)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
福建及台灣 (Fukien with Formosa)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
湖北 (Hupei)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
湖南 (Hunan)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
陝西 (Shensi)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
甘肅 (Kansu)	中國		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
西藏 (Tibet)	西藏		7,900,000	1,158,271	58,000,000		
東土庫斯坦 (East Turkestan)	東土庫斯坦		7,900,000	1,158,271	58,000,000		

[一]

錄

附

附

錄

國名	州	面積	人口	人口密度
印度總督府 (Gov. Gen. of India)	孟加拉 (Bihar)	17,711	4,670,733	264
	孟買 (Bombay)	1,771,174	26,722,673	151
	德里 (Delhi)	1,518,313	1,781,302	117
	古吉拉特 (Gujarat)	211,008	3,311,697	157
孟加拉總督府 (Gov. of Bengal)	孟加拉 (Bihar)	17,711	4,670,733	264
	西孟加拉 (Western Bengal)	25,889	1,598,866	61
	東孟加拉 (Eastern Bengal)	2,713	1,274,987	47
	查爾那格浦爾 (Chandernagore)	817	362,883	44
印度總督府 (Gov. Gen. of India)	西孟加拉 (Western Bengal)	25,889	1,598,866	61
	東孟加拉 (Eastern Bengal)	2,713	1,274,987	47
	查爾那格浦爾 (Chandernagore)	817	362,883	44
	印度總督府 (Gov. Gen. of India)	1,497,735	66,589,553	44

附錄 [三]

國名	州	面積	人口	人口密度
印度總督府 (Gov. Gen. of India)	孟加拉 (Bihar)	17,711	4,670,733	264
	孟買 (Bombay)	1,771,174	26,722,673	151
	德里 (Delhi)	1,518,313	1,781,302	117
	古吉拉特 (Gujarat)	211,008	3,311,697	157
	西孟加拉 (Western Bengal)	25,889	1,598,866	61
	東孟加拉 (Eastern Bengal)	2,713	1,274,987	47
	查爾那格浦爾 (Chandernagore)	817	362,883	44
	印度總督府 (Gov. Gen. of India)	1,497,735	66,589,553	44
	印度總督府 (Gov. Gen. of India)	1,497,735	66,589,553	44
	印度總督府 (Gov. Gen. of India)	1,497,735	66,589,553	44

[四]

附

録

國名	州	面積	郡數	前回調査	一千八百九十一年	一カ年度
印	ラホール (Lahore)	20,766	6	40,133	45,764	178
	ラウールパンジ (Rawal Pindi)	33,317	5	41,511	45,177	178
	デラール (Deraul)	11,016	3	14,761	16,503	178
	フェシハール (Feshahur)	11,016	3	14,761	16,503	178
	中央代理官管轄ノ部 (Chief Commissioner of Central Provinces)	34,127	5	27,580	29,824	178
	ナガプー (Nagpur)	19,040	5	21,016	23,765	178
	アムハル (Amhaur)	18,311	5	17,631	18,785	178
	ナリハル (Narhar)	35,013	3	31,599	33,373	178
	チャタガ (Chhatargah)	8,650	1	9,838	10,749	178
	チーフ・コミッショナーノ部 (Chief Commissioner of Burma)	14,536	4	58,751	66,954	178
	アラカン (Arakan)	9,299	4	11,690	14,413	178
	ペー (Pegu)	16,805	4	12,611	14,873	178
	イラワディー (Irawadi)	46,590	6	81,913	97,166	178
	テンセー (Tensasserim)	87,310	1	373,671	456,968	178
	上座 (Upper Burma)	68,933	1	373,671	456,968	178
	チーフ・コミッショナーノ部 (Chief Commissioner of Madras)	156,142	5	373,671	456,968	178
	マドラス (Madras)	140,762	2	30,812	35,914	178

附

録

[五]

國名	州	面積	郡數	前回調査	一千八百九十一年	一カ年度
印	ベンガル (Bengal)	101,668	28	285,773	309,754	178
	コンカン (Konkan)	13,639	7	27,091	29,230	178
	デカン (Deccan)	38,379	5	53,299	62,336	178
	カナル (Karnatik)	14,868	2	23,854	28,340	178
	ボンベイ (Bombay City)	33	1	7,311	8,047	178
	シンド (Sind)	77,068	1	140,553	159,575	178
	英領總計	488,334	5	1,486,555	1,681,198	178
度	印度合部 (Total Continental India)	943,993	2	1,895,911	2,330,330	178
	屬地 (Dependencies)	13	0	0	0	0
	アヘン及ペー (Athen and Pegin)	13	0	0	0	0
	クエーラ (Quera, etc)	0	0	0	0	0
	アンダマン (Andamans)	0	0	0	0	0
	ラカデー (Laccadive, etc)	0	0	0	0	0
度	手八百九十一年現在	943,993	2	1,895,911	2,330,330	178
	一カ年度ノ密度	13	0	0	0	0
	一カ年度ノ密度	13	0	0	0	0

[六]

附

錄

國名	都 王 所 地	面積	人 口 千八百九十一年現在	一 方 哩 之 密 度
印度	<p>ムムバインーア (Bombay)</p> <p>ムムバインーア (Bihar)</p> <p>ムムバインーア (Biharpur)</p> <p>ムムバインーア (Bhopal)</p> <p>ムムバインーア (Awar)</p> <p>ムムバインーア (Chikmagur)</p> <p>ムムバインーア (Tonk)</p> <p>ムムバインーア (Kashmir)</p> <p>他ノムムバインーア州 (Other Kingdom States)</p> <p>中央印度 (Central India)</p> <p>ムムバインーア代理官署 (Indore Agency)</p> <p>ムムバインーア (Bhopawar)</p> <p>ムムバインーア (Bhopal)</p> <p>ムムバインーア (Gwalior)</p> <p>他ノ諸州 (Other States)</p> <p>孟買辦理官署ノ領 (Bombay Feudatories)</p> <p>ムムバインーア (Gujarat)</p> <p>旁州 (Coast States)</p> <p>森林州 (Forest States)</p> <p>ムムバインーア (Muzaffar Group)</p>	<p>35,000</p> <p>31,750</p> <p>14,465</p> <p>1,934</p> <p>1,200</p> <p>3,024</p> <p>2,694</p> <p>2,509</p> <p>3,797</p> <p>2,077</p> <p>1,275</p> <p>7,330</p> <p>5,051</p> <p>1,250</p> <p>1,544</p> <p>7,588</p> <p>9,580</p> <p>1,754</p> <p>9,588</p>	<p>2,752,030</p> <p>8,311,110</p> <p>2,824,480</p> <p>6,406,220</p> <p>2,798,880</p> <p>7,690,880</p> <p>3,333,110</p> <p>3,793,330</p> <p>5,262,260</p> <p>1,349,530</p> <p>1,330,015</p> <p>3,712,100</p> <p>9,760,000</p> <p>1,904,800</p> <p>1,754,370</p> <p>5,131,140</p> <p>1,013,970</p> <p>5,356,990</p> <p>2,747,560</p> <p>1,017,550</p> <p>2,018,920</p>	<p>六八</p> <p>三七</p> <p>一九五</p> <p>三三五</p> <p>三三三</p> <p>三五四</p> <p>一一七</p> <p>一五一</p> <p>一三九</p> <p>九五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p> <p>一三五</p>

附

錄

[七]

國名	都 王 所 地	面積	人 口 千八百九十一年現在	一 方 哩 之 密 度
印度	<p>ムムバインーア (Khatipur)</p> <p>ムムバインーア (Madras Feudatories)</p> <p>ムムバインーア (Tamilnadu)</p> <p>穆里 (Mysore)</p> <p>他ノ諸州 (Other States)</p> <p>中央州辦理官署ノ領 (Central Province Feudatories)</p> <p>西北州辦理官署ノ領 (North West Province Feudatories)</p> <p>ムムバインーア (Punjab Feudatories)</p> <p>ムムバインーア (Patiala)</p> <p>ムムバインーア (Jind)</p> <p>ムムバインーア (Nabha)</p> <p>ムムバインーア (Kanpurhala)</p> <p>ムムバインーア (Ferozkot)</p> <p>ムムバインーア (Jhajar Kotla)</p> <p>ムムバインーア (Bahawalpur)</p> <p>四小州 (Four Small States)</p> <p>丘陵州 (Hill States)</p> <p>ムムバインーア (Bengal Feudatories)</p> <p>ムムバインーア (Kashmir)</p> <p>ムムバインーア (Sikkim)</p>	<p>6,109</p> <p>6,904</p> <p>6,730</p> <p>1,781</p> <p>1,784</p> <p>9,475</p> <p>2,943</p> <p>5,125</p> <p>5,951</p> <p>1,268</p> <p>9,36</p> <p>5,98</p> <p>6,43</p> <p>1,62</p> <p>1,728</p> <p>517</p> <p>1,093</p> <p>3,839</p> <p>3,751</p> <p>8,000</p> <p>1,550</p>	<p>1,319,960</p> <p>8,064,240</p> <p>2,557,840</p> <p>7,188,700</p> <p>4,196,100</p> <p>3,693,630</p> <p>2,157,440</p> <p>7,991,160</p> <p>1,538,810</p> <p>2,803,000</p> <p>2,827,600</p> <p>2,995,990</p> <p>1,150,400</p> <p>7,57,750</p> <p>6,48,900</p> <p>1,341,800</p> <p>8,33,550</p> <p>4,256,670</p> <p>3,428,390</p> <p>1,550</p>	<p>二二</p> <p>一一七</p> <p>三八〇</p> <p>五二六</p> <p>三九〇</p> <p>三七</p> <p>一五六</p> <p>二六六</p> <p>三三四</p> <p>三〇二</p> <p>五一六</p> <p>一七九</p> <p>四六八</p> <p>三八</p> <p>一一一</p> <p>九一</p>

附

錄

國名	面積	人口	一平方哩之密度
印度	4,000,000	千八百九十一年現在	—
暹羅	642,996	66,167,860	111
總計	1,587,104	286,696,960	186
州名	面積	人口	一平方哩之密度
中央州 (Central)	2,304	472,609	205
ウヤ (Uya)	3,735	159,889	43
北部中央州 (North Central)	4,047	74,606	18
西部州 (Western)	1,371	764,007	557
サバラン (Sabaranuwa)	2,085	258,414	124
北西部 (North-Western)	3,034	319,764	106
南部州 (Southern)	1,980	489,667	257
東部州 (Eastern)	3,657	149,610	41
北部州 (Northern)	3,171	319,663	101
總計	25,364	3,008,239	118
香港	6,463	2,082	8,545
白哲人種	151,122	61,774	22,896
異色人種	157,585	63,856	22,441
總計	—	—	—
千八百九十一年現在	—	—	—
新	—	—	—
舊	—	—	—
總計	—	—	—
白哲人種	—	—	—

附

錄

國名	面積	人口	一平方哩之密度
歐洲諸國 (European Russia) (1,188,777)	331,505	340,151	1
アーチンガク (Archangelisk)	91,337	93,339	10
アストラカ (Astrakhan)	1,761	158,839	90
ベラルーシ (Belarussia)	310,133	1,099,983	354
チルキヤ (Chernigoff)	1,053	676,582	644
タラント (Tartarland)	6,186	1,896,133	307
ドニエプル (Don, Region of)	261,488	1,874,162	71
エカテリンブルグ (Ekaterinburg)	781	392,738	50
モスクワ (Moscow)	1,943	1,354,435	90
シベリア (Siberia)	1,194	1,998,882	100
カザン (Kazan)	346,011	2,140,702	89
キーフ (Kieff)	196,911	3,072,000	155
クリミア (Krim)	31,700	1,354,162	41
男	555	311	2,803
女	109	9	683
異色人種	674	40	3,483
男	1,336,400	530,126	278,884
女	661,183	412,111	141,017
男	1,899,333	935,339	419,901
女	1,905,977	935,379	423,384
總計	3,805,310	909,910	506,577
千八百九十一年現在	—	—	—
千八百九十一年現在	—	—	—

附

録

州	名	面積	人口	一方哩ノ密度
コブネー	(Kovno.)	一五、六九三	一、五三三、七四七	九七
クルク	(Kursk.)	一七、九三七	二、六六六、五七三	一四八
キルコフ	(Khar'kov.)	二一、〇四一	三、三三三、〇三九	一五〇
キルソフ	(Khorson.)	二七、五三三	三、〇二六、八五三	一〇七
ミルキー	(Mironka.)	一八、一五八	一、三三九、四六八	七三
ミルコ	(Mirsk.)	三五、九三三	一、六八〇、六一五	六七
モギル	(Mogiler.)	一八、五五一	一、二九四、一六六	六七
モスク	(Moscow.)	一三、八二九	三、二一〇、七七一	二二七
ニジニ	(Nizhni Novgorod.) (一八八九)	一九、七九七	一、五三七、〇一一	七七
ノボロシ	(Novgorod.) (一八八九)	四七、三三三	一、二二三、〇五八	二五
オロネツ	(Oronetz.)	五七、四三九	三、四一、五六八	一〇一
オライ	(Orai.)	一八、〇四二	二、〇二二、三三九	一一三
オレンブルク	(Orenburg.) (一八八九)	七三、八一六	一、二八九、三三八	一七
ペル	(Penz.)	一四、九九七	一、五二二、五三七	一〇一
ペル	(Pern.)	二八、二一一	二、七二二、九八七	一一二
ポドolia	(Podolia.)	一六、三三四	二、四三三、七五五	一四九
ポルタワ	(Portava.)	一九、二六五	二、七九四、七三九	一四五
プスコフ	(Pskoff.)	一七、〇六九	九六五、三三五	五六
リヤン	(Rykan.)	一六、三三五	一、八四三、三四五	一一三
聖彼得堡	(St. Petersburg.)	三〇、七六〇	一、六八〇、二七三	八〇
サマラ	(Samara.) (一八八九)	五八、三一一	二、六一四、四〇五	四五
サモボ	(Samoloff.)	三三、三三四	三、三一一、三三〇	七〇
シムビツク	(Simbitsk.)	一九、一一〇	一、五七九、八四七	八二

附

録

州	名	面積	人口	一方哩ノ密度
スモレンスク	(Smolensk.)	二一、六三八	一、三三九、四四四	六一
タムボフ	(Tamboff.)	三五、七一一	二、七三〇、一四五	七六
タウリダ	(Taurida.)	二四、五三九	一、〇九六、六七〇	四四
タラ	(Tala.)	一一、九五四	一、四四五、六〇〇	一一〇
タラ	(Tara.) (一八八九)	三五、二二五	一、七八一、八六一	七〇
タラ	(Tara.)	四七、一一一	二、〇一八、三五六	七〇
タラ	(Tara.)	一六、四二二	一、三〇四、七八八	七九
チルコフ	(Chirchik.)	一七、四四〇	一、七五九、九五四	七三
チルコフ	(Chirchik.)	一八、八六四	二、〇三三、一七二	七四
チルコフ	(Chirchik.)	二七、七四三	二、三三四、八六七	八二
チルコフ	(Chirchik.)	一五、四九三	一、三三九、七五四	八二
チルコフ	(Chirchik.)	二五、四四三	二、五八八、九三三	一〇一
チルコフ	(Chirchik.)	五九、一一七	二、九一四、三四四	四九
チルコフ	(Chirchik.)	一三、七七一	一、二二六、八九一	八一
チルコフ	(Chirchik.)	一四、四七六	一、	八一
チルコフ	(Chirchik.)	一九、〇二二	八六五、九四三	四五
カリス	(Kalisz.)	四三、九一一	八三七、三二七	一九〇
キエフ	(Kiev.)	三三、八九七	六九三、三三八	一七五
ロム	(Lomja.)	四、六六七	六〇八、六八三	一三〇
ラビラ	(Lublin.)	六、四九九	九七九、七〇〇	一五〇
ピョートルコフ	(Piotrkow.)	四、七二九	一、〇九一、二八二	二二〇
ピョートルコフ	(Piotrkow.)	四、二〇〇	六〇〇、六六二	一四三
ピョートルコフ	(Piotrkow.)	四、七六九	七八二、二七四	一六四
ピョートルコフ	(Piotrkow.)	五、五三五	六七一、五九八	一二一

附

録

國名	州	面積	人口	一平方哩ノ密度
芬蘭大公國 (Grand-Duchy of Finland)	カウサスキ (Suwalki)	四八四六	六五六、九三三	一三五
アホービョルネボル (Åbo-Björneborg)	ワザワ (Warsaw)	五、六三三	一、四六五、一三一	二六〇
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	四九、二五七	八、三八五、八〇七	一七〇
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	九、三三五	三、八六三、五五〇	四一
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、六四九	三、八一、三五二	一六
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	四、五八六	一、三三、七三三	五〇
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	八、八一九	一、七六、七八六	一九
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	八、三三四	二、五〇、〇七一	三〇
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	六、三九七	三、三七、八四八	三
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、六六二	三、三三、九七〇	一九
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、六〇八	四〇五、七六七	二四
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、四四、二五五	二、三〇五、九一六	一六
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	二〇、九五五〇四	九五、八七〇、八一〇	四五
亞細亞 (Russia in Asia)	タホーユキ (Taivassalu)	三、六、四三九	一、二八六、六三三	三五
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	三、三三九	六、六、七五一	三八
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	三、三三九	七、九、四六八	二六
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	八、六、六五八	二、六、七三〇	三〇
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、一、七七一	七、四、九三〇	四九
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、一、四九二	五、七、三五六	五一
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一、七〇四	七、五、三九五	四四
タホーユキ (Taivassalu)	ワザワ (Warsaw)	一〇、七四五	六、七、七四九	六三

附

録

國名	州	面積	人口	一平方哩ノ密度
カールス (Kars)	カールス (Kars)	七、二〇〇	三、三、一一四	三三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、四〇、八四	九、五、〇〇〇	六七
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、七、二二三	八、一、九、二六四	一八
カールス (Kars)	カールス (Kars)	九、五、七九九	四、七、八、四、五五〇	四九
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、八、二、四三七	七、四、五、八一	四〇
カールス (Kars)	カールス (Kars)	三、三、九、六〇九	五〇〇、一八二	二
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、八、四、六三二	五、七、六、六七八	三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、七、六、二一九	三、六、四、六六〇	二
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、八、九、一六八	五、五、九、五五二	三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	二、六、一、六六	二、〇〇、九七〇	二
カールス (Kars)	カールス (Kars)	七、五、五、七三	六、八〇、一、三三	二
カールス (Kars)	カールス (Kars)	二、六、六、二七	七、七、五、六〇〇	二五
カールス (Kars)	カールス (Kars)	三、五、六、五四	六、七、一、八七八	二
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、五、二、二八〇	一、二、一、四、三〇〇	三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、九、四、八五三	三、三、四、一、九一三	四
カールス (Kars)	カールス (Kars)	四〇、九、四一四	三〇、一、四、七、六	一
カールス (Kars)	カールス (Kars)	二、一、四、二、三三七	一、六、九、三、八一	一
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、六、九、三、八一	一、五、四、八、二、五	三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、五、四、八、二、五	一、三、一、三、四〇〇	二
カールス (Kars)	カールス (Kars)	五、三、九、六、五九	一、七、九、九、七、二九	三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	三、三、一、一、五九	三、六、三、三、一、二九	三
カールス (Kars)	カールス (Kars)	八、七〇、八一八	四、二、一、八、七	一
カールス (Kars)	カールス (Kars)	二、八七、〇六一	五、四、五、三、三、八	一
カールス (Kars)	カールス (Kars)	二、三六、八六八	二、五、五、六、七、一	一
カールス (Kars)	カールス (Kars)	一、五、三、三、三、九七		一

附

録

國名	州名	面積	人口	人口	一方哩ノ密度
露西亞帝國	モシコフ州 (Moskoff)	九八七、一八六	四、五八、五七二		四
	東部西比利亞州	三、〇四四、五二二	一、六八〇、七六八		五
	アムール (Amur) (一八八六)	一七二、八四六	六三、三三三		三
	プリモルスカヤ (Primorskaya)	七、五九八、八二二	一〇二、七八六		一
	アムール地方	八八八、八三〇	一六六、〇〇七		一
	薩哈連 (Sakhalin)	二九、三三六	一四、六四五		一
	西比利亞州	四、八三三、四九六	四、四八四、五四九		九
	亞放西亞州	六、五六四、七七八	一七、五八七、〇五九		三
	露西亞帝國總計	八、六六〇、二八二	一、二四、八七三、〇〇八		一三
	表中(一八八七)トアルハ一千八百八十七年調査(一八八九)トアルハ一千八百八十九年調査ナリ				
露	ストックホルム (Stockholm) (City)	一三三	一六八、七五五	二四六、一五四	一九、〇〇〇
	ストックホルム (Stockholm) (General district)	二、九九五	一四七、〇二二	二五三、七一五	五〇
	ウプサラ (Uppsala)	二、〇五三	一一一、〇一九	一一一、〇九七	五九
	スウェーデン (Sweden) (General district)	二、六三一	一四七、一八六	一五四、九八九	六〇
	スウェーデン (Sweden) (General district)	四、四三三	二六七、一三三	二六六、六一五	六二
	クロンボロ (Kronoberg)	四、四六四	一九六、二七一	一九三、七〇三	四三
	カールス (Kalmar)	三、八四一	一六九、七三六	一六〇、三八九	四〇
	ゴットランド (Gotland)	四、四三八	二四五、一〇五	二三三、八四八	五二
	ブレンネ (Blekinge)	一、二〇三	五五、六六八	五一、三三九	四三
	クリスチアナスタ (Kristianstad)	一、一六四	一三七、四七七	一四二、六〇六	一三
クリスチアナスタ (Kristianstad)	一、五〇七	三三〇、六一七	三三一、六九七	八七	

録

附

國名	州名	面積	人口	人口	一方哩ノ密度
露	マールボロ (Maribo)	一、八四七	三四九、三二〇	三六八、八二〇	一九八
	スウェーデン (Sweden) (General district)	一、八九九	一三三、二九九	一三六、一一〇	五四
	スウェーデン (Sweden) (General district)	一、九五三	二六、一一四	二九七、七八〇	一五二
	スカンボロ (Skarbo)	四、九四八	二八八、九四七	二七五、七九五	五四
	ヴェーランド (Vernland)	三、三〇七	二五七、九四二	二四七、〇七五	七五
	ブレンネ (Brenne)	七、三四六	二六八、四一七	二五三、三三八	三四
	ブレンネ (Brenne)	三、五二二	一八二、二六三	一八二、五五八	五一
	ヴェストマン (Vestmanland)	二、六二二	二八、四九一	一三七、四三三	五一
	ヴェストマン (Vestmanland)	一、四二二	一九〇、一三三	一九七、四三二	一七
	ヴェストマン (Vestmanland)	七、四一八	一七八、七二八	二〇六、九二四	二七
ヴェストマン (Vestmanland)	九、五三〇	一六九、一九五	二〇八、七五八	二二	
ヴェストマン (Vestmanland)	一九、五九三	八三、六二二	一〇〇、四五五	五	
ヴェストマン (Vestmanland)	二二、九四二	一〇六、四三三	一二三、七八四	五	
ヴェストマン (Vestmanland)	四〇、五三三	九〇、七六一	一〇四、七八三	二	
露		三、五二七			
露		一七〇、九七九	四、五六五、六六八	四、七八四、六七五	二七
露	クリスチアナスタ (Kristianin)	六	一五〇、四四四	二五〇、七五四	四八
	アケルシュ (Akershus)	二、〇五四	九八、九七三	一一〇、四三三	七五
	スウェーデン (Smaalene)	一、五九九	一一八、九九八	一一八、九九八	一一
	スウェーデン (Smaalene)	一〇、六一八	一〇七、八七三	一〇七、八七三	一一

国名	州名	面積	積	人	口	一方哩ノ密度
	Denmark (Danskørd)		五,七三六	千八百九十一年一月一日現在	一〇,四七三	一八
	丹麥王國 (Danish or Tavrik)		八九五		一〇,一〇一	一一三
	丹麥王國 (Danish)		五,八六三		九,一八二	一六
	丹麥王國 (Danish)		三,六〇八		八,一〇六	三三
	丹麥王國 (Danish)		二,八〇四		七,八七八	二八
	丹麥王國 (Danish)		三,五三一		一七,〇七八	三三
	丹麥王國 (Danish)		六,〇二四		一一,二五五	二一
	丹麥王國 (Danish)		三		五,三六八	一一
	丹麥王國 (Danish)		七,一四五		八,七六六	一七,八九五
	丹麥王國 (Danish)		五,七八五		一七,七六三	一一
	丹麥王國 (Danish)		七,一八八		二一,五三三	三三
	丹麥王國 (Danish)		八,七六一		八,一三三	一七
	丹麥王國 (Danish)		一,四六五		一三,一八三	二二
	丹麥王國 (Danish)		一,〇一三		六,五〇九	一一
	丹麥王國 (Danish)		一八,二九五		二九,一一〇	一六
	丹麥王國 (Danish)		二,四九五		一,九九九,二七六	
	丹麥王國 (Danish)		五,〇三四	千八百九十年現在	三,一三三	四,〇五六
	丹麥王國 (Danish)		九,七三三		九,一七四	一八三
	丹麥王國 (Danish)		九,七三三		九,四二二	九六

國名	州名	面積	積	人	口	一方哩ノ密度
	Prussia (Preussien)		一五,二八九	千八百八十五年十二月一日現在	二八,九五四	一四三
	普魯士王國		一三四,四六三		二八,三一一	二一三
	普魯士王國		二九,二八一		五,五八九	一九〇
	普魯士王國		七,五三三		二〇,三三三	二七〇
	普魯士王國		五,八二一		一六,〇二五	二八四
	普魯士王國		五,七九七		一八,二〇三	六〇四
	普魯士王國		五,一三三		五,七三二	一一六
	普魯士王國		二,九六五		九,九三三	三三三
	普魯士王國		二,四七九		三,五四九	一四三
	普魯士王國		一,四三三		四,〇三〇	二八三
	普魯士王國		一,三二八		三,三六〇	三三三
	普魯士王國		一,三〇一		九,九九九	八六六
	普魯士王國		九,九三三		二,四八二	三三三
	普魯士王國		九,〇六		二,七五九	二九〇
	普魯士王國		七,五三三		三〇,六三三	二七五
	普魯士王國		五,一三三		一七,〇二二	三三三
	普魯士王國		四,六六		一七,四一四	二七三
	普魯士王國		四,三三		五,七三三	一三三
	普魯士王國		三,六三		八,五六三	二二四

附

錄

國名	面積	千八百九十五年		千八百九十年		一方向/面積
		十二月一日現在	十二月一日現在	十二月一日現在	十二月一日現在	
シウツルンブルグ、マンナク、クンツマン(Schwaburg-Soultzbach)	三三三	七三六〇六	七五、五二〇	三三六、七		
リノエグ統統(Kreuss-Schleitz)	三一九	一一〇、五九八	一一九、八一	三九五、六		
シムツムブルグ、ツマニ(Schauenberg-Lippe)	三三一	三三、三〇四	三九、一八三	三九五、一		
リノエグ統統(Kreuss-Greiz)	一一三	五五、九〇四	六二、七五四	五二四、三		
薩格(Saargau)	一五八	五二、八六二〇	六三、三三〇	三九四九、一		
リノエグ統統(Erbeck)	一一五	六七、六五八	七六、四八五	六六五、一		
ブレンン(Brennen)	九九	一六、六二八	一八〇、四四三	一八三、六		
アルサス、ローラン(Alsace-Lorraine)	五、六六八	一、五六四、三五五	一、六〇三、九八七	二八二、九		
總計	三〇、八七三	四六、八五五、七〇四	四九、四一六、四七六	三三六、七		

各國輸出入表

支那帝國

平均額(百万單位)

輸出入品	至從一八八七〇六年		至從一八八七〇六年		至從一八八七〇六年	
	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年
阿片	九三三	七、八三	四二、四	三、五、四	三、五、四	三、五、四
絲織物	五九〇	七、八七	二六、八	五、八	三〇、七	三、五、四
金屬器	一一九	一一、一	五、四	五、四	五、八	五、八
毛織物	一四四	一一、六	六、五	五、四	五、八	五、八
雜貨平均價	二一九	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三

附

錄

輸出品	至從一八八七〇六年		至從一八八七〇六年		至從一八八七〇六年	
	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年
茶	一〇、〇一	八、七四	四六、七	四六、二	四六、二	四六、二
絹及織物	八、三三	六、四八	三、八、八	三、四、二	三、四、二	三、四、二
生糸其他	六、五八	四、五七	三〇、七	二四、一	二四、一	二四、一
府小切	一、三三	一、一六	六、二	六、一	六、一	六、一
總計平均額	二二、四	一八、九二	八、九二	八、九二	八、九二	八、九二

輸出品

至從一八八七〇六年

至從一八八七〇六年

至從一八八七〇六年

輸出品	至從一八八七〇六年		至從一八八七〇六年		至從一八八七〇六年	
	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年	至從一八八七〇六年
香港	四八、七九	一五、五五	三九、五五	二二、二六	三三、五五	三三、五五
英吉利	一〇、五三	一〇、七九	一三、七九	一三、七九	一三、七九	一三、七九
歐羅巴洲(露西亞除外)	一〇、七一	一〇、九〇	一〇、九〇	一〇、九〇	一〇、九〇	一〇、九〇
合計	六九、三〇	三七、二四	六四、二四	四九、二五	六七、二四	六七、二四

附

錄

輸出品	平均額(百萬單位)		輸出品	平均額(百萬單位)	
	至一八七五年	至一八八〇年		至一八七五年	至一八八〇年
米、穀	一八七五	一八七六	印度(荷屬)椰子	一八七五	一八八〇
金銀貨、金銀塊	〇・九六	〇・六八	英吉利	一八七五	一八八〇
棉織物	〇・八一	〇・五九	英吉利、印度	一八七五	一八八〇
石灰、コーク	〇・一九	〇・二五	英吉利	一八七五	一八八〇
總計平均額	五・三五	四・八三	英吉利	一八七五	一八八〇
茶	〇・〇二	〇・〇三	英吉利	一八七五	一八八〇
椰子油	〇・〇二	〇・〇三	英吉利	一八七五	一八八〇
檳榔皮	〇・〇二	〇・〇三	英吉利	一八七五	一八八〇

輸出品	至一八七五年	至一八八〇年
印度(荷屬)椰子	一八七五	一八八〇
英吉利	一八七五	一八八〇
英吉利、印度	一八七五	一八八〇
英吉利	一八七五	一八八〇
英吉利	一八七五	一八八〇

輸出品	至一八七五年	至一八八〇年
印度(荷屬)椰子	一八七五	一八八〇
英吉利	一八七五	一八八〇
英吉利、印度	一八七五	一八八〇
英吉利	一八七五	一八八〇
英吉利	一八七五	一八八〇

附

錄

輸出品	平均額(百萬單位)		輸出品	平均額(百萬單位)	
	至一八七五年	至一八八〇年		至一八七五年	至一八八〇年
(一) 棉織品(棉糸共)	一八七五	一八七六	(一) 棉織品(棉糸共)	一八七五	一八七六
棉織物	九・五七	一三・八〇	棉織物	九・五七	一三・八〇
棉線、糸及細糸	一・六四	二・五四	棉線、糸及細糸	一・六四	二・五四
(二) 金屬器	三・〇三	三・三九	(二) 金屬器	三・〇三	三・三九
(三) 鐵器、用材	〇・六一	〇・六一	(三) 鐵器、用材	〇・六一	〇・六一
(四) 假被類	〇・六一	〇・六一	(四) 假被類	〇・六一	〇・六一
(五) 毛織物	〇・六一	〇・六一	(五) 毛織物	〇・六一	〇・六一
(六) 石灰、コーク	〇・六一	〇・六一	(六) 石灰、コーク	〇・六一	〇・六一
總計平均額	一六・九七	二二・三三	總計平均額	一六・九七	二二・三三
金銀貨及金銀塊	五・三三	三・三三	金銀貨及金銀塊	五・三三	三・三三

輸出品	至一八七五年	至一八八〇年
(一) 棉織品(棉糸共)	一八七五	一八八〇
(二) 金屬器	一八七五	一八八〇
(三) 鐵器、用材	一八七五	一八八〇
(四) 假被類	一八七五	一八八〇
(五) 毛織物	一八七五	一八八〇
(六) 石灰、コーク	一八七五	一八八〇
總計平均額	一八七五	一八八〇
金銀貨及金銀塊	一八七五	一八八〇

附

錄

輸出品	平均				輸出品
	至一八七二年	至一八七六年	至一八八一年	至一八八五年	
(一) 生絲	二一九五	二二二一	二一六八	二一八	生絲
(二) 阿片	一〇七八	一一〇八	一〇八〇	四三二	茶(一八八二年ヨリ)
(三) 米	三九〇	四六六	六〇三	二二二	金蘭(一八八二年ヨリ)
(四) 油	一七五	二五一	四七四	七二	生毛
(五) 小麥	一〇一	一〇七	一〇七	二二	檳榔
(六) 胡椒	一〇八	一五九	三九二	一七	石灰及「コ」
(七) 糖	〇七九	一〇四	二四〇	一七〇	油
(八) 雜貨	一八五	二三〇	二八三	一六	葡萄酒(一八八二年ヨリ)
(九) 茶	〇三三	〇六九	一四九	一〇	葡萄酒(一八八二年ヨリ)
總計平均額	五〇一六	五三六四	六六六六	三三	雜貨
(一) 英吉利	四九・八三	四四・二五	四一・二七	一六・一八	果物及菓
(二) 支那(香港ヲ含ム)	—	二〇・五三	一六・一八	四・三三	
(三) 支那(香港ヲ除ク)	—	四・三八	四・三三	—	
(四) 香港	一四・八三	一六・一五	一一・八五	—	

(四) 南洋列國
(五) 合衆國

(一) 生絲
(二) 阿片
(三) 米
(四) 油
(五) 小麥
(六) 胡椒
(七) 糖
(八) 雜貨
(九) 茶

(一) 英吉利
(二) 支那(香港ヲ含ム)
(三) 支那(香港ヲ除ク)
(四) 香港

附

錄

輸出品	平均				輸出品
	至一八七二年	至一八七六年	至一八八一年	至一八八五年	
(五) 佛蘭西	六・一一	七・六二	九・一六	—	(五) 油種、小麥、棉
(六) 海峽殖民地	三・五六	四・〇六	四・〇四	—	(六) 米、棉及棉布類
(七) 以太利	一・九一	二・五六	三・九〇	—	(七) 糖、油種、獸皮
(八) 合衆國	三・五〇	三・三四	三・六四	—	(八) 胡椒及苦度製糖品、油種、藍靛
(九) 澳地利、匈牙利	一・七八	二・三二	二・八三	—	(九) 糖
(十) 埃及	〇・〇三	〇・八三	二・八〇	—	(十) 米、小麥、油種、藍靛
(十一) 錫蘭	四・一三	四・七一	二・六三	—	(十一) 米
(十二) 白耳	〇・〇九	〇・二五	二・六二	—	(十二) 糖、油種、小麥
(十三) 暹羅、西貢	〇・三三	〇・六二	〇・九一	—	(十三) 糖、油種、小麥
生絲	一・〇四	一・四一	一・一〇	一・三三	
茶(一八八二年ヨリ)	一・三六	一・八七	一・七二	一・三三	
金蘭(一八八二年ヨリ)	〇・七五	一・四八	一・〇〇	一・三三	
生毛	〇・五〇	一・二二	一・〇〇	一・三三	
檳榔	〇・三三	一・一三	一・一三	一・三三	
石灰及「コ」	一・〇一	一・三三	一・七九	一・三三	
油	〇・四〇	一・〇五	一・一〇	一・三三	
葡萄酒(一八八二年ヨリ)	〇・八五	一・一〇	一・四〇	一・三三	
葡萄酒(一八八二年ヨリ)	一・〇五	一・一〇	一・三九	一・三三	
雜貨	〇・三六	一・一七	一・一四	一・三三	
果物及菓	〇・六七	一・三六	一・一四	一・三三	

(五) 佛蘭西
(六) 海峽殖民地
(七) 以太利
(八) 合衆國
(九) 澳地利、匈牙利
(十) 埃及
(十一) 錫蘭
(十二) 白耳
(十三) 暹羅、西貢

生絲
茶(一八八二年ヨリ)
金蘭(一八八二年ヨリ)
生毛
檳榔
石灰及「コ」
油
葡萄酒(一八八二年ヨリ)
葡萄酒(一八八二年ヨリ)
雜貨
果物及菓

【五廿】 錄 附

輸出入品	輸 入		輸 出	
	至	至	至	至
牛毛	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
五箇年平均	三三二四	三〇五六	四八二五	五五〇八
英吉利	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
日耳曼	三七七六	三三三四	三三三三	三三三三
佛蘭西	三〇三四	三二八四	三〇八二	三〇八二
亞細亞	八三三五	一〇六二	七九五	七九五
印度	四四二	六三四	六七四	六七四
雜貨	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇
毛織	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	一〇九四	一〇九四	一〇九四	一〇九四
絲織	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	〇九六	〇九六	〇九六	〇九六
雜貨	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
雜貨	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
雜貨	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
雜貨	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
雜貨	至一八七二年	至一八七六年	至一八七二年	至一八七六年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三

【四廿】 錄 附

輸出入品	輸 入		輸 出	
	至	至	至	至
生糸	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
七箇年平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
英吉利	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
日耳曼	四一六二	四七六四	三三三三	三三三三
佛蘭西	二八七〇	二七一五	二四三三	二四三三
亞細亞	五〇七	四七〇	五〇五	五〇五
印度	三三三	三三三	三三三	三三三
雜貨	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
平均	一八八六	三二六五	五七〇〇	五二〇〇
毛織	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
平均	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三
絲織	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
平均	〇九六	〇九六	〇九六	〇九六
雜貨	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
雜貨	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
雜貨	至一八六一年	至一八七〇年	至一八六一年	至一八七〇年
平均	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三

附

錄

輸出品	平均額 (百萬單位)				輸出品
	至一八八七年	至一八八八年	至一八八九年	至一八九〇年	
玉蜀黍	二二〇	二二六	二二九	二二六	至一八八七年
小麥	九二五	三〇六	二二九	二二九	至一八八八年
合計	一一二〇	一一三〇	一一二九	一一二六	至一八八九年
英國	至一八八七年	至一八八八年	至一八八九年	至一八九〇年	至一八八七年
澳洲	至一八八七年	至一八八八年	至一八八九年	至一八九〇年	至一八八八年
日耳曼	至一八八七年	至一八八八年	至一八八九年	至一八九〇年	至一八八九年
其他	至一八八七年	至一八八八年	至一八八九年	至一八九〇年	至一八九〇年

瑞典輸出入表

附

錄

輸出品	平均額 (百萬單位)				輸出品
	至一八八七年	至一八八八年	至一八八九年	至一八九〇年	
日耳曼	二二六	二二六	二二六	二二六	至一八八七年
英國	三三二	三三二	三三二	三三二	至一八八八年
丁林	一六五	一六五	一六五	一六五	至一八八九年
露西亞及芬蘭	八八九	八八九	八八九	八八九	至一八九〇年
其他	五二九	五二九	五二九	五二九	至一八八七年
合計	一一一〇	一一一〇	一一一〇	一一一〇	至一八八八年
咖啡、酒精、烟草	二七二	二七二	二七二	二七二	至一八八九年
石灰、羊毛及棉織品	二六二	二六二	二六二	二六二	至一八九〇年
小麥及小麥粉	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	至一八八七年
「ライ」麥及「ライ」麥粉	九二四	九二四	九二四	九二四	至一八八八年
鹽漬魚類	六三二	六三二	六三二	六三二	至一八八九年
其他	一一一	一一一	一一一	一一一	至一八九〇年

平均額 (百萬單位)

附

錄

輸出品	總計額百分率			輸出品
	至一八七三年	至一八七六年	至一八八一年	
英吉利	五三.九四	五一.九八	四八.九一	木材、鐵及他種
佛蘭西	九.六二	一一.六五	一一.五八	
丁抹	一一.八二	一〇.六一	一一.五二	牛、馬、木材
日耳曼	六.八七	六.八六	七.七八	
總計	三三.三三	三三.五	四〇.〇	紐子

輸出品	平均額(百萬單位)			輸出品
	至一八七三年	至一八七六年	至一八八一年	
「ライ」麥及「ライ」麥粉	一.二五	一.三六	一.四六	「ライ」麥及「ライ」麥粉、咖啡
毛織物	〇.六六	〇.五二	〇.七八	
石灰	〇.三四	〇.三三	〇.四〇	毛織物、棉織物、石炭
咖啡	〇.五九	〇.五六	〇.六九	
大麥	〇.三七	〇.三六	〇.四二	粉類、牛酪
牛酪	〇.二〇	〇.二〇	〇.二二	
棉織物	〇.三三	〇.三三	〇.三三	「ライ」麥、大麥、小麥
小麥及小麥粉	〇.一九	〇.二〇	〇.一九	
獸皮及皮	〇.三三	〇.三三	〇.三三	
鐵及鐵器	〇.三三	〇.三三	〇.三三	
總計平均額	八.五五	八.六七	八.七九	

錄

附

輸出品	總計額百分率			輸出品
	至一八七三年	至一八七六年	至一八八一年	
日耳曼	六二.六五	二七.五八	二九.〇三	「ライ」麥及「ライ」麥粉、咖啡
英吉利	二九.四八	二六.八九	二六.二〇	
瑞典	七.二四	八.三四	一一.〇二	毛織物、棉織物、石炭
丁抹	一一.一六	一〇.八一	九.一九	
佛蘭西	九.七五	一〇.八五	八.七九	粉類、牛酪
北亞米利加	一一.三三	一八.二	三三.三三	

輸出品	平均額(百萬單位)			輸出品
	至一八七三年	至一八七六年	至一八八一年	
木材	二七.〇	一.九六	四六.一	木材、鐵及他種
鐵	〇.九四	一.〇八	一六.〇	
鐵油	〇.九三	〇.七一	一五.九	牛、馬、木材
魚油	〇.三三	〇.三〇	五.三	
魚油	〇.〇二	〇.〇六	〇.二九	「ライ」麥、大麥、小麥
魚油	〇.〇七	〇.〇九	〇.〇九	
魚油	五.八六	五.五四	六.三八	

附

錄

輸出品	平均額(百萬單位)		總計額(百萬單位)		輸入額超過平均額	
	至一八七四年	至一八八二年	至一八七五年	至一八八〇年	至一八七四年	至一八八二年
毛織物	〇.九三	〇.九三	七.五八	七.三八	〇.八一	〇.八〇
絲(リボン)及織物	〇.八〇	〇.八〇	六.五四	六.〇〇	〇.七三	〇.七〇
砂糖	〇.八三	〇.八三	六.七九	五.九二	〇.七三	〇.六八
糖	〇.八三	〇.八三	五.五四	五.三八	〇.七三	〇.六八
木材及燃料	〇.六八	〇.六八	六.八七	五.三八	〇.五七	〇.六〇
石灰	〇.六八	〇.六八	五.三〇	四.七〇	〇.八三	〇.六〇
生油	〇.六八	〇.六八	四.八〇	四.八〇	〇.五八	〇.五七
總計平均額	一.二二七	一.三〇	五.五四	四.一六	〇.三六	〇.三八

附

錄

輸出品	平均額(百萬單位)		總計額(百萬單位)		輸出品
	至一八七四年	至一八八二年	至一八七五年	至一八八〇年	
牛	一.六六	一.三三	一七.六〇	一三.〇三	至一八八四年
小麥	〇.八五	〇.九四	九.〇一	九.二〇	至一八八一年
小麥及粉類	〇.七一	〇.六六	七.五三	六.四六	
豆及粉	〇.三六	〇.五四	三.八二	五.二九	
總計平均額	九.四三	一〇.三二	三.八二	五.二九	

生絲(一八七四年ヨリ)	三・三七	三・三三	一五五・〇	二・七	二・四	
生絲(一八七五年ヨリ)	二・九二	二・八七				
生絲(一八七六年ヨリ)						
生絲(一八七七年ヨリ)						
生絲(一八七八年ヨリ)						
生絲(一八七九年ヨリ)						
生絲(一八八〇年ヨリ)						
生絲(一八八一年ヨリ)						
生絲(一八八二年ヨリ)						
生絲(一八八三年ヨリ)						
生絲(一八八四年ヨリ)						
生絲(一八八五年ヨリ)						
生絲(一八八六年ヨリ)						
生絲(一八八七年ヨリ)						
生絲(一八八八年ヨリ)						
生絲(一八八九年ヨリ)						
生絲(一八九〇年ヨリ)						
生絲(一八九一年ヨリ)						
生絲(一八九二年ヨリ)						
生絲(一八九三年ヨリ)						
生絲(一八九四年ヨリ)						
生絲(一八九五年ヨリ)						
生絲(一八九六年ヨリ)						
生絲(一八九七年ヨリ)						
生絲(一八九八年ヨリ)						
生絲(一八九九年ヨリ)						
生絲(一九〇〇年ヨリ)						

輸出品	平均額(百万單位)			百分率			輸出品
	至一八七二年 至一八七五年	至一八七六年 至一八八〇年	至一八八一年 至一八八五年	至一八七二年 至一八七五年	至一八七六年 至一八八〇年	至一八八一年 至一八八五年	
生糸類	五〇・二	五五・八	六三・三	二七	三一	四〇	輸入
生獸皮	四・八二	四・〇七	四・七七	二六	二二	三一	
石炭油	三・〇九	三・七〇	三・〇二	一七	二二	三〇	
亞麻	二・三三	二・八三	二・九二	一三	一六	一九	
亞麻	四・一九	四・〇一	二・七九	二二	二二	一八	
亞麻	二・二五	二・二五	二・二七	一一	一一	一八	
亞麻	九・七六	七・八二	一五・五六	五三	四四	一四	英吉利
亞麻	一八・一五	一七・六八	一五・五六				
總計平均額							
毛織物(一八八〇年ヨリ)	〇・五八	八・五五	八・八八	〇・五	六一	五・七	輸出
生絲(一八七四年ヨリ)	〇・三六	二・四六	六・六五	〇・三	一七	二・三	
生絲(一八七五年ヨリ)	〇・三三	〇・八七	一・八五	〇・二	〇・六	一・二	
生絲(一八七六年ヨリ)	二・九七	四・六三	八・四五	二・四	三三	五・四	
生絲(一八七七年ヨリ)	四・三四	六・三二	六・〇五	三・六	四四	三・九	
生絲(一八七八年ヨリ)	二・一七	三・三二	五・四五	一・八	二二	三・五	
生絲(一八七九年ヨリ)	二・一七	二・五五	四・六七	一・八	二二	三・〇	
生絲(一八八〇年ヨリ)	二・一五	二・三九	四・三六	一・五	一八	二・七	
生絲(一八八一年ヨリ)	四・七一	二・三五	三・一二	三・九	一七	二・〇	
生絲(一八八二年ヨリ)	二・二八	一・九二	二・八〇	一・〇	一四	一・八	
生絲(一八八三年ヨリ)							
生絲(一八八四年ヨリ)							
生絲(一八八五年ヨリ)							
生絲(一八八六年ヨリ)							
生絲(一八八七年ヨリ)							
生絲(一八八八年ヨリ)							
生絲(一八八九年ヨリ)							
生絲(一九〇〇年ヨリ)							
生絲(一八七四年ヨリ)							
生絲(一八七五年ヨリ)							
生絲(一八七六年ヨリ)							
生絲(一八七七年ヨリ)							
生絲(一八七八年ヨリ)							
生絲(一八七九年ヨリ)							
生絲(一八八〇年ヨリ)							
生絲(一八八一年ヨリ)							
生絲(一八八二年ヨリ)							
生絲(一八八三年ヨリ)							
生絲(一八八四年ヨリ)							
生絲(一八八五年ヨリ)							
生絲(一八八六年ヨリ)							
生絲(一八八七年ヨリ)							
生絲(一八八八年ヨリ)							
生絲(一八八九年ヨリ)							
生絲(一九〇〇年ヨリ)							

明治二十六年三月十日印刷
明治二十六年三月十四日出版

(萬國地理指要上卷)

(定價金五拾錢)

版
權
所
有

著者

林 曾 登 吉
麴町區三番町六番地

發行者

龜 井 忠 一
神田區裏神保町一番地

發賣所

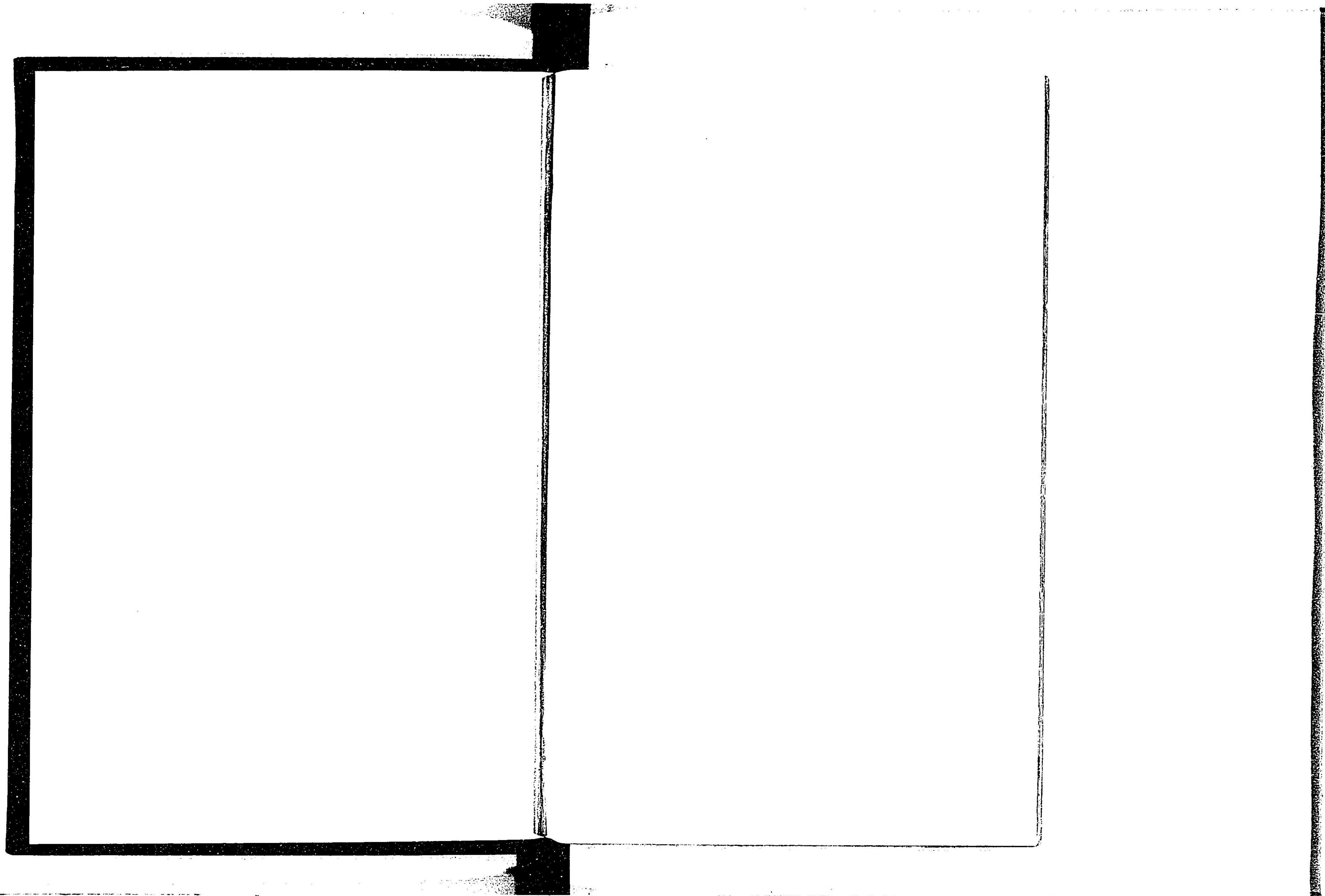
三省堂書店
神田區裏神保町一番地

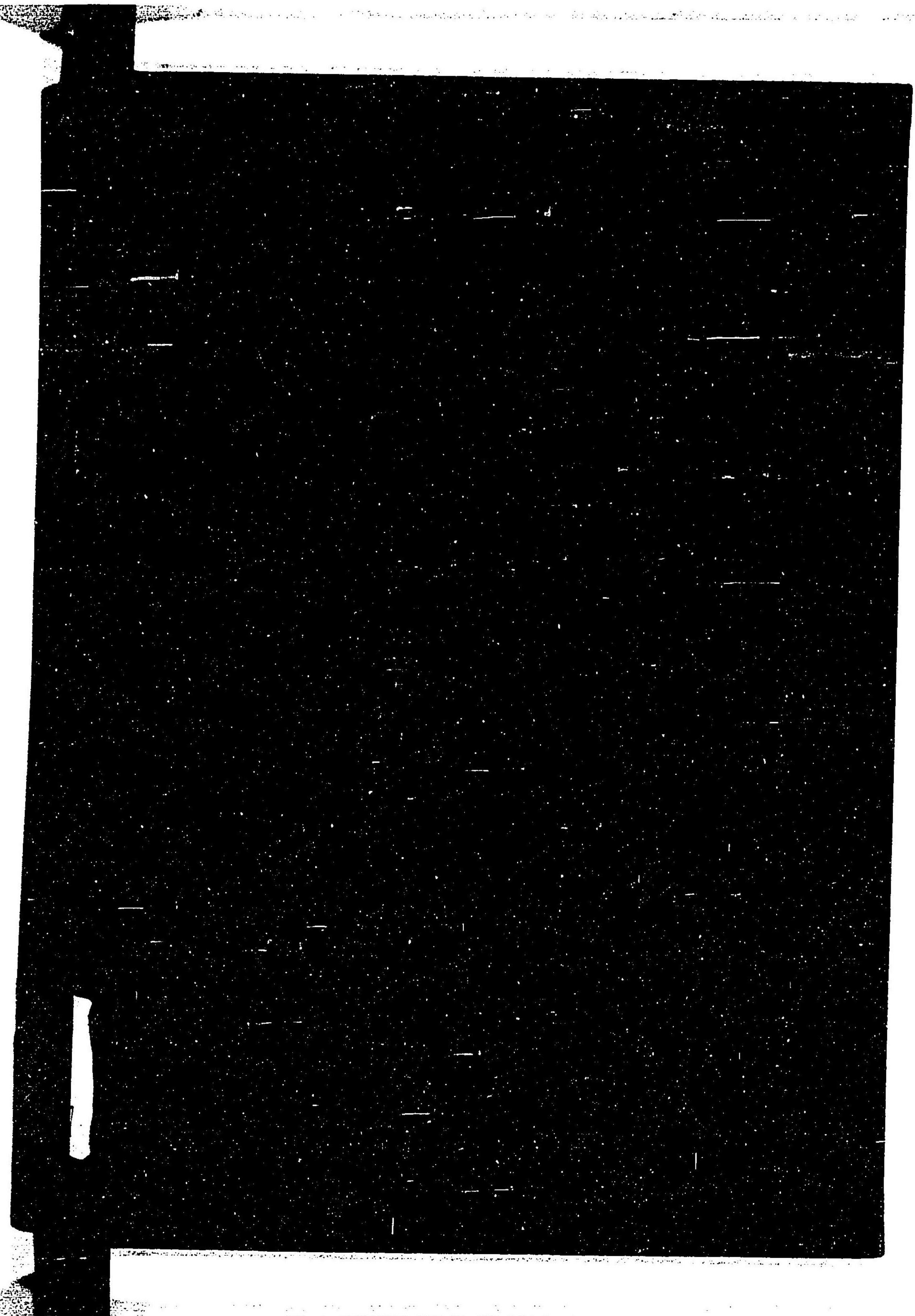


印刷者

橘 磯 吉
京橋區弓町二十四番地

1475





19
387

(M)

022309-001-0

19-387

万国地理指要

林 曾登吉 / 著

上

M26

ADA-0810



